



National Institute of Informatics

---

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究－2007年度(平成19年度)版－

IV. 総合・新領域系および大型研究費編

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for Scientific Research — 2007 Fiscal Year —

IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

野村浩康、光田好孝、前田正史、前橋 至、  
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Hiroyasu NOMURA, Yoshitaka MITSUDA, Masafumi MAEDA,  
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,  
and Yuan SUN

NII-2009-011J

Apr. 2009

科学研究費補助金採択研究課題数による  
大学の研究活性度の調査研究  
－2007年度(平成19年度)版－  
IV. 総合・新領域系および大型研究費編

野村浩康\*\*, 光田好孝\*, 前田正史\*, 前橋 至\*  
\* 東京大学 \*\* 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛  
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity  
Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research*  
－ 2007 Fiscal Year －

IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

Hiroyasu NOMURA\*\*, Yoshitaka MITSUDA\*,  
Masafumi MAEDA\*, Itaru MAEBASHI\*  
\* The University of Tokyo, \*\* Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,  
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN  
National Institute of Informatics

## Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fourth report for 2007 fiscal year's version, on the research field of interdisciplinary and new area & large-scaled project funds. The large-scaled project funds involve the big project of Scientific Research on Priority Area, and the huge grants for Specially Promoted Area and for Creative Scientific Research. The total number of adoption subjects of research projects at 2007 has been summed up for each university and institute both on individual research field of interdisciplinary and new area and on individual funds of large-scaled project funds, and compared to those of 2006 which were reported previously.

# 目 次

## I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに .....	1
2. 調査研究に利用したデータベース .....	3
3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況 .....	3
4. 調査研究の具体的な分析方針 .....	10

## II. 個別課題研究費編：総合・新領域系

1. 概要 .....	11
2. 分野別 .....	18
2-1 総合領域 .....	18
2-2 複合新領域 .....	30

## III. 大型研究費編

1. 概要 .....	39
2. 大型研究費の特徴 .....	42
3. 研究種目別 .....	43
3-1 特定領域研究 .....	43
3-2 特別推進研究 .....	47
3-3 学術創成研究費 .....	48
3-4 特別研究促進費 .....	49



# I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

## 1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、わが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関などに所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度であり、この制度がわが国の大学の基礎研究を支えてきたといっても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、最近ではその伸び率が小さくなってきたものの、図1-1に示すように毎年予算増が図られ、2008年度（平成20年度）には1,932億円に達し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に調査・分析することは重要である。

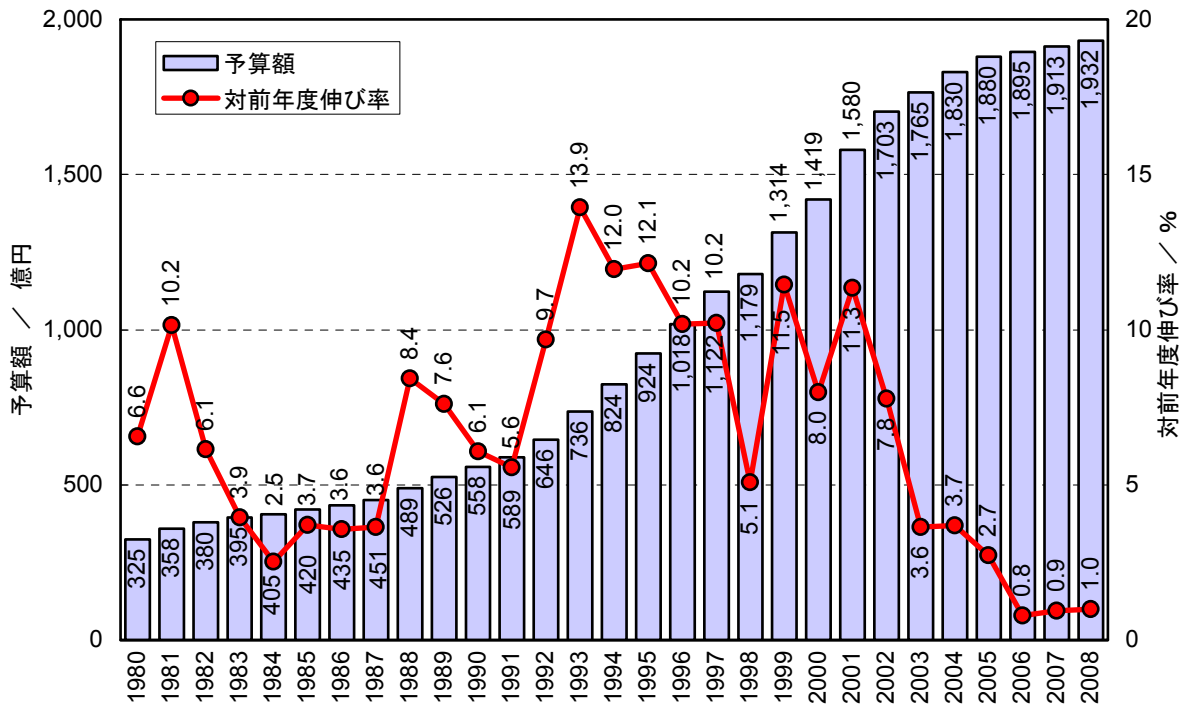


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

近年、いろいろな機関が大学などの評価、順位づけを行っているが、評価における観点として、個人および機関評価の資料として用いるデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味からも科学研究費補助金の採択研究課題名および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所のwebサイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもがみることができると、最も公開が進んでいる資料で

ある。

科学研究費補助金のように、公開データから採択研究課題数を大学別に整理することにより順位づけを行う場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS (Research Active Staff) の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、わが国の研究者への研究費の配分について、機関配分よりも競争的な個人配分の割合が大きくなる傾向が強くなるのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活力度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」(以下「細目表」という)である。この「細目表」は基盤研究などの研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部・学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部・学科などの大学の組織の人数などを短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく、実施しようとする研究計画の内容を考え、適切な「細目」を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならぬ。このような考えを受けて、2003 年度に大幅な「細目表」の改訂が行われている。一方、「細目表」の改訂が一段落した 2006 年度から、若手研究(スタートアップ)が始まり、特別研究促進費が従来の大型研究から大きくその性格を変えている。このほか、2007 年度からは若手研究(S)が始まり、さらに 2008 年度からは大型研究が従来とは大きく変化し「新学術領域研究」という新しい研究種目が導入されるように、少しずつ制度の内容が変わってきている。

2003 年度(平成 15 年度)の科学研究費補助金の「細目表」の大改訂を考慮し、1998 年度(平成 10 年度)から 2002 年度(平成 14 年度)の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、わが国の大学・研究機関の研究活力度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活力度の調査研究 —」として出版した。以来、2003 年度から毎年、科学研究費補助金の全ての分野にわたり調査・分析した結果をその都度、web 上または出版物として報告してきた。この間、2004 年度(平成 16 年度)には国立大学の法人化など大学をめぐる研究・教育環境は大きく変化してきた。

本調査報告は、同様の調査研究の 2007 年度(平成 19 年度)版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2006 年度版までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2006 年度版と同様に、個別課題研究費(基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費)と大型研究費(特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費)とその他(奨励研究、特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費)にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。2006 年度から特別研究促進費の性格が変わり、2007 年度にも若干の変更があったが、これまでの調査研究との整合性から、特別研究促進費は大型研究費の中で議論する。

## 2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名などについては、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要などについては、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数などを機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、基本的に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いており、「KAKEN」データでは直接経費のみであるため、各採択研究課題の配分額は直接経費のみの額である。また、予算額などの「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いており、予算額は基本的には間接経費を含んだ額となっている。

なお、「KAKEN」には基本的に年度当初の採択研究課題に加え、年度途中の追加採択研究課題も含まれているが、本調査研究用にデータを取得した段階では、2007年度基盤研究（C）については追加採択研究課題が反映されていなかった。一方、2007年度に関しては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に「補遺版」が発行され、通常とは異なる時期に採択が行われた若手研究（S）の採択研究課題や追加採択の状況が掲載されている。

## 3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況

2007年度の総予算額は、図1-1に示したように、前年度より18億円増、0.9%増えて1,913億円である。伸び率はきわめて小さいが、緊縮財政状況の中でプラスの伸び率であることをよとする状況である。2005年度から2007年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。1999年度から科学研究費補助金の取り扱いが基本的に機関経理に変更され、2001年度から科学研究費補助金に間接経費が付けられるようになった。当初は特別推進研究、基盤研究（S）など配分額が大きい研究種目に限られていたが、順次拡大され、2007年度からは基盤研究（B）、（C）にも間接経費が配分されるようになった。したがって表1-1では2005年度から2007年度の予算額を間接経費の配分状況がわかるように、間接経費を内数とした総予算額と間接経費を並列に示した。前述のように、2007年度は前年度に比べ予算額は18億円増加しているが、機関補助である間接経費を引いた実質研究費（直接経費）の予算額は、前年度に比べ約134億円、7.7%減となっている。

これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費他として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。図1-2では直接経費の予算状況をみるために、予算額から間接経費を除いた金額で提示した。

2005年度、2006年度に比べて、2007年度は項目別予算額（直接経費）の内訳が大きく変化してい



る。前年度と比較すると個別課題研究費の割合が 59.1%から 66.1%に拡大し、大型研究費の割合が 34.1%から 28.1%に縮小しているのが特徴である。特別研究員奨励費、研究成果公開促進費などの割合はほとんど変化していない。先にも述べたように、2007年度は間接経費の措置される研究種目が増えたために実質研究費（直接経費）の予算額が減ったが、直接経費の予算額を前年度と比較すると、個別課題研究費は 32 億円強、対前年度比 3.1%増加し、その代わり大型研究費が 140 億円強、24.0%減少している。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目	2005年度		2006年度		2007年度		
	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	13,600	3,138	13,700	3,161	8,255	1,905
	(2) 特定領域研究	40,291	—	40,291	—	31,480	—
	(3) 基盤研究(S)	10,600	2,446	10,600	2,446	10,600	2,446
	(4) 基盤研究(A)	20,640	4,760	20,640	4,760	21,970	5,070
	(5) 基盤研究(B)	34,110	—	34,110	—	44,343	10,233
	(6) 基盤研究(C)	19,870	—	19,870	—	26,026	6,006
	(7) 萌芽研究	5,250	—	5,250	—	5,508	—
	(8) 若手研究(S)	—	—	—	—	1,300	300
	(9) 若手研究(A)	5,900	1,361	6,150	1,419	6,150	1,419
	(10) 若手研究(B)	14,600	—	14,600	—	14,600	—
	(11) 若手研究 (スタートアップ)	—	—	1,000	—	1,800	—
	(12) 奨励研究	600	—	600	—	500	—
	(13) 特別研究促進費	250	—	400	—	250	—
	小 計	165,711	11,705	167,211	11,786	172,782	27,379
2 研究成果 公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	—	884	—	583	—
	(2) 学術図書	685	—	685	—	412	—
	(3) デー タベ ー ス	1,416	—	1,416	—	645	—
	(4) 研究成果公開発表	397	—	397	—	160	—
	小 計	3,382	—	3,382	—	1,800	—
3 特定奨励費	770	—	770	—	700	—	
4 特別研究員奨励費	6,170	—	6,070	—	5,353	—	
5 学術創成研究費	11,050	2,550	11,050	2,550	9,515	2,196	
6 審査・評価・分析経費	917	—	1,017	—	1,150	—	
合 計	188,000	14,255	189,500	14,336	191,300	29,575	

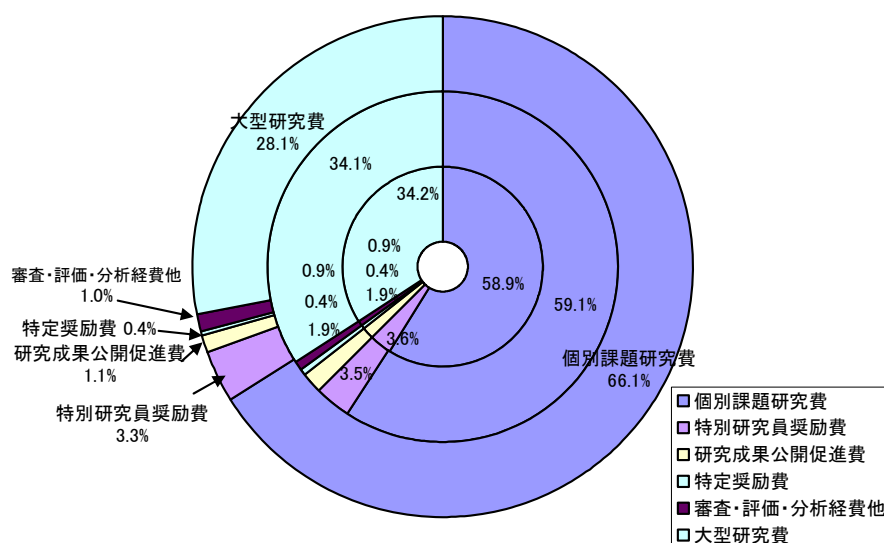


図 1-2 2005 年度(内周)、2006 年度(中間周)、2007 年度(外周)の  
科学研究費補助金（直接経費）の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2007 年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみよう。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表 1-2 に示す。特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費の配分額の総額は前年度より 1.3% 増加し、採択研究課題数も 1,858 件、対前年度比にして 4.3% 増えている。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の 2007 年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図 1-3 に示す。前年度と比較して、個別課題研究費の総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数も伸びているが、個別課題研究費の総採択研究課題数に占める各「系」の割合は、総合・新領域系が 17.6%、人文社会系は 19.0% と前年度に比べてそれぞれ 0.2%、1.0% 大きくなっているのに対し、理工系は 25.3% から 24.4% と 0.9% 小さくなり、生物系も 39.2% から 39.0% と 0.2% 小さくなっている。人文社会系の割合が大きくなっているのに対し、理工系の割合が小さくなっている。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2007 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
基盤研究 (S)	件数	37	44	13	9	44	27	71	29	20	50	0	344
	配分額	619	753	201	135	725	473	1,185	508	336	879	0	5,814
基盤研究 (A)	件数	196	200	137	161	198	85	333	77	134	210	0	1,731
	配分額	1,888	1,887	1,005	1,305	1,874	931	3,554	819	1,199	2,320	0	16,782
基盤研究 (B)	件数	923	569	573	755	587	309	1,249	317	668	1,648	0	7,598
	配分額	3,958	2,566	1,934	2,604	2,443	1,584	6,032	1,556	2,999	8,336	0	34,011
基盤研究 (C)	件数	1,964	622	1,801	2,068	1,336	450	1,859	486	822	5,505	283	17,196
	配分額	2,487	821	1,697	2,090	1,465	701	2,544	755	1,159	8,007	369	22,094
萌芽研究	件数	555	226	192	293	224	169	520	159	281	1,260	0	3,879
	配分額	746	340	180	302	275	285	816	249	421	1,891	0	5,506
若手研究 (S)	件数	4	3	2	2	3	4	5	2	2	8	0	35
	配分額	76	82	11	23	81	70	64	23	21	148	0	600
若手研究 (A)	件数	130	82	11	22	79	67	197	56	50	135	0	829
	配分額	724	463	38	88	438	409	1,216	344	285	826	0	4,831
若手研究 (B)	件数	1,588	519	654	1,439	900	426	1,432	489	589	3,772	0	11,808
	配分額	1,945	659	562	1,298	995	629	1,934	722	784	5,188	0	14,716
若手研究(スタートアップ)	件数	162	73	119	234	106	61	186	75	85	523	0	1,624
	配分額	196	89	126	241	131	80	230	99	112	652	0	1,956
分野別合計	件数	5,559	2,338	3,502	4,983	3,477	1,598	5,852	1,690	2,651	13,111	283	45,044
	配分額	12,639	7,662	5,755	8,084	8,427	5,162	17,574	5,076	7,317	28,246	369	106,310
特別研究員奨励費	件数	5,553											5,553
	配分額	5,245											5,245

\* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

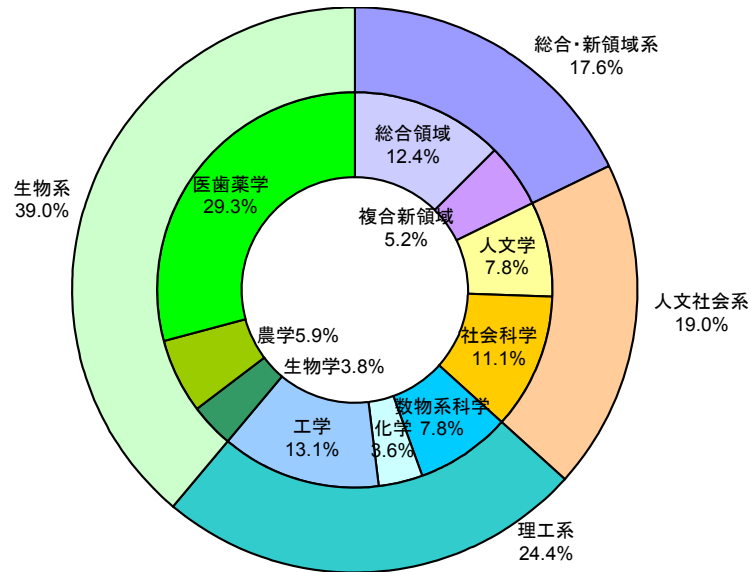


図 1-3 2007 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

次に、2007 年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみよう。2007 年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数上位 50 位を表 1-3 に、その棒グラフを図 1-4 に示す。

このような採択研究課題数による順位づけでは研究機関の規模が大きく反映されるほか、医学系の学部・研究科を持つ大学が比較的上位に現れやすい傾向がある。前年度と比較すると、1 位の東京大学から 11 位の神戸大学まで旧帝国大学、旧文理大学などが続き、その順位に変動はない。上位で特徴的なことは岡山大学と慶應義塾大学が順位を入れ替えているほか、理化学研究所が 16 位から 14 位に上昇していることである。中位グループでは群馬大学が 26 位から 24 位に上昇し、山口大学が 24 位から 26 位に後退している程度で、その他はおおむね±1 の変化に留まっている。40 位以降では、東京理科大学が同数 50 位から 43 位に上昇し、日本原子力研究開発機構が同数 48 位と上位 50 位入りを果たし、福井大学は 45 位から同数 48 位に、鳥取大学が 42 位から同数 48 位に後退し、奈良先端科学技術大学院大学、宮崎大学、佐賀大学が上位 50 位から姿を消している。

表1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	2,899	17,818,660	2,860
2	国	京都大学	2,362	11,936,750	2,310
3	国	東北大学	2,001	8,651,550	1,890
4	国	大阪大学	1,926	8,891,240	1,794
5	国	九州大学	1,489	5,116,740	1,466
6	国	北海道大学	1,432	5,011,528	1,456
7	国	名古屋大学	1,312	5,604,770	1,256
8	国	筑波大学	969	2,854,530	944
9	国	広島大学	855	2,263,450	837
10	国	東京工業大学	787	4,242,430	790
11	国	神戸大学	757	2,433,760	762
12	私	慶應義塾大学	668	1,996,116	622
13	国	岡山大学	623	1,625,470	644
14	他	理化学研究所	600	2,813,940	553
15	国	千葉大学	588	1,574,710	593
16	私	早稲田大学	566	1,593,181	576
17	国	金沢大学	552	1,246,450	501
18	国	熊本大学	431	1,197,600	408
19	国	東京医科歯科大学	424	1,649,710	407
20	国	新潟大学	414	975,000	458
21	国	長崎大学	401	993,480	390
22	国	徳島大学	381	975,430	402
22	私	日本大学	381	671,991	347
24	国	群馬大学	355	848,350	333
25	公	大阪市立大学	336	848,520	335
26	国	山口大学	323	628,160	340
27	国	鹿児島大学	321	715,170	305
28	国	信州大学	320	857,380	316
29	公	大阪府立大学	317	738,930	296
30	公	首都大学東京	298	749,990	288
31	他	産業技術総合研究所	296	922,360	272
32	国	愛媛大学	287	689,400	270
33	国	静岡大学	275	606,810	266
34	国	岐阜大学	265	543,890	267
35	国	富山大学	261	554,007	258
36	国	三重大学	250	585,380	240
37	国	山形大学	249	446,994	247
38	私	立命館大学	242	536,160	245
39	公	名古屋市立大学	228	504,020	224
40	国	東京農工大学	227	903,060	228
41	国	横浜国立大学	219	577,560	222
42	国	琉球大学	217	354,362	211
43	私	東京理科大学	209	538,330	185
44	国	弘前大学	207	377,230	204
45	私	東海大学	204	455,000	208
46	公	横浜市立大学	203	552,520	203
46	公	京都府立医科大学	203	474,780	186
48	他	日本原子力研究開発機構	198	782,310	161
48	国	福井大学	198	380,910	205
48	国	鳥取大学	198	364,590	217
合計			49,189	152,476,133	47,484

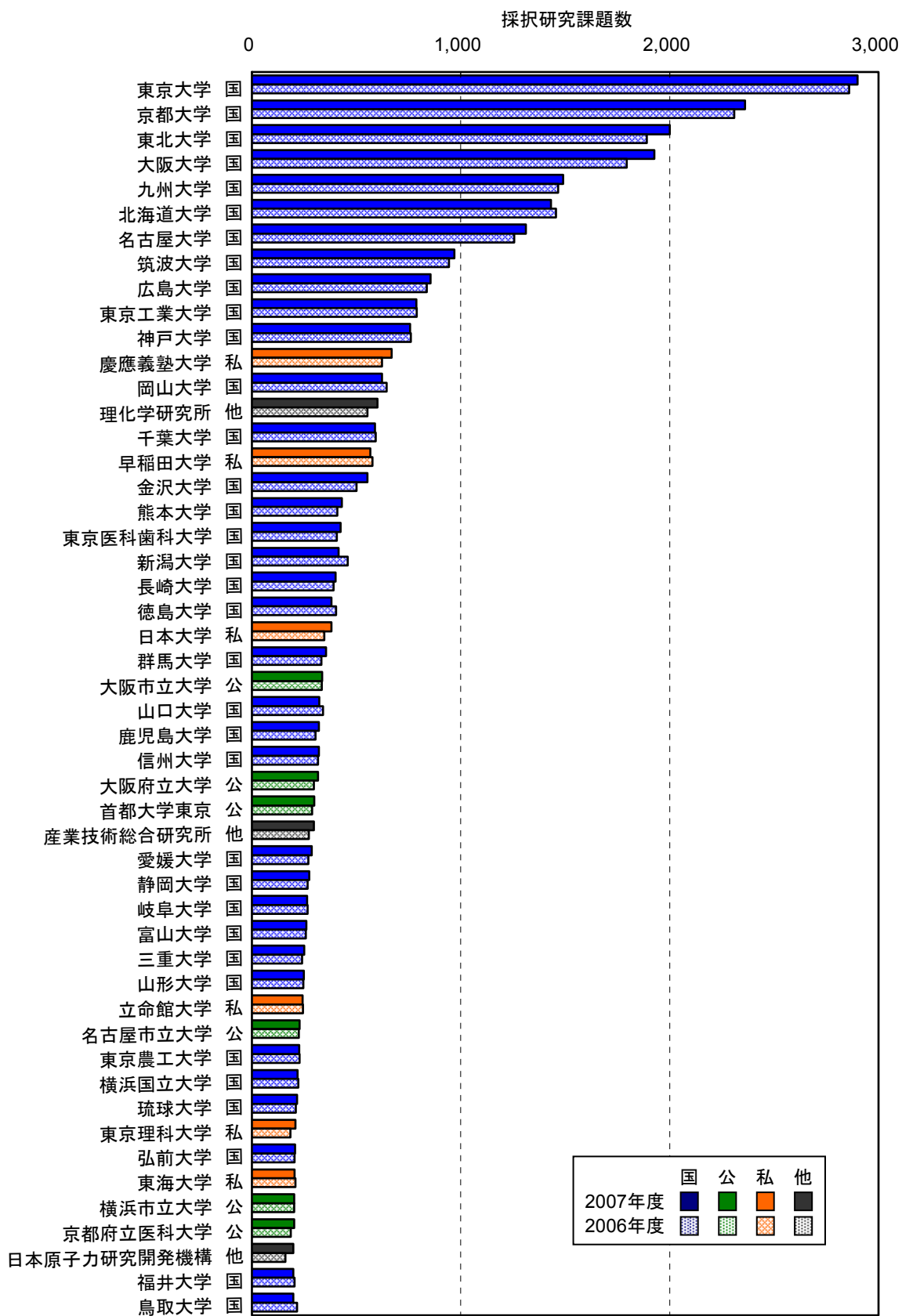


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

#### 4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2006年度版の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2006年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2006年度の途中から2007年度の研究課題の採択までの間に、大学などの合併や名称変更などが行われている。2006年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2007年4月1日現在における大学などの合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2007年度の科学研究費補助金の採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学など学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、単年度では調査件数が少ないことから、2007年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、2003年度から2007年度までの5年間の総集編の出版を計画しており、そこであらためて分析対象としたい。

## II. 個別課題研究費編：総合・新領域系

### 1 概要

2007 年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経年変化による採択動向をみることにする。総合・新領域系全体での機関別採択研究課題数上位 50 位を表 2-1 に、その棒グラフを図 2-1 に示す。表から明らかなように、総合・新領域系全体としては、採択研究課題数の多い「分科」は理工学を主とする研究分野が多いため、機関別順位には理工系と同様の傾向がある。前年度と比較すると、全体として採択研究課題数が 5.7% 増えていることがわかる。他の系と同様に、前年度の伸び率 7.1% よりは小さくなっている。

東京大学を含め旧帝国大学の優位は変わらないが、名古屋大学が採択研究課題数を 10 件増やして 9 位から 7 位に、立命館大学も採択研究課題数を増やして同数 25 位から同数 19 位に上昇している。これに対して、九州工業大学が採択研究課題数を 9 件減らして 22 位から同数 30 位に、首都大学東京が同数 23 位から同数 33 位に、北陸先端科学技術大学院大学が同数 27 位から 45 位に後退している。



表2-1 総合・新領域系 採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	409	1,779,690	393
2	国	京都大学	309	1,266,510	278
3	国	大阪大学	265	947,440	235
4	国	東北大学	250	815,330	245
5	国	筑波大学	213	618,540	219
6	国	北海道大学	178	586,198	193
7	国	名古屋大学	160	434,030	150
8	国	九州大学	156	491,910	158
9	国	東京工業大学	151	615,480	154
10	他	理化学研究所	139	454,150	117
11	私	早稲田大学	126	290,311	121
12	国	広島大学	122	280,700	114
13	私	慶應義塾大学	113	289,796	97
14	他	産業技術総合研究所	97	272,670	92
15	国	神戸大学	92	241,900	86
16	国	金沢大学	84	199,190	71
17	国	千葉大学	72	202,300	73
18	国	電気通信大学	64	131,190	69
19	私	立命館大学	63	179,220	51
19	国	奈良先端科学技術大学院大学	63	175,920	63
21	国	静岡大学	60	138,500	59
22	公	大阪府立大学	57	124,400	59
23	国	信州大学	52	110,670	51
24	国	東京農工大学	50	131,900	49
24	国	富山大学	50	103,900	46
26	国	岡山大学	49	149,260	49
26	国	鹿児島大学	49	116,900	53
28	国	東京医科歯科大学	47	142,480	50
28	国	群馬大学	47	118,600	50
30	国	九州工業大学	46	104,030	55
30	国	長崎大学	46	95,750	44
30	国	岐阜大学	46	90,200	41
33	公	首都大学東京	45	107,800	53
33	公	大阪市立大学	45	100,600	40
35	他	国立情報学研究所	44	133,140	40
36	国	徳島大学	43	135,400	39
36	私	東海大学	43	99,500	36
38	他	生理学研究所	42	138,800	29
39	国	豊橋技術科学大学	41	95,300	35
40	国	新潟大学	40	118,960	35
40	国	名古屋工業大学	40	90,200	28
40	国	山口大学	40	57,670	42
43	国	熊本大学	39	102,320	42
43	国	横浜国立大学	39	95,000	44
45	国	北陸先端科学技術大学院大学	38	88,280	50
46	私	東京理科大学	34	79,620	35
46	私	日本大学	34	55,700	30
48	国	お茶の水女子大学	33	69,470	33
48	国	山形大学	33	43,050	33
50	国	愛媛大学	31	76,110	31
50	私	近畿大学	31	60,030	27
合計			7,897	20,300,610	7,468

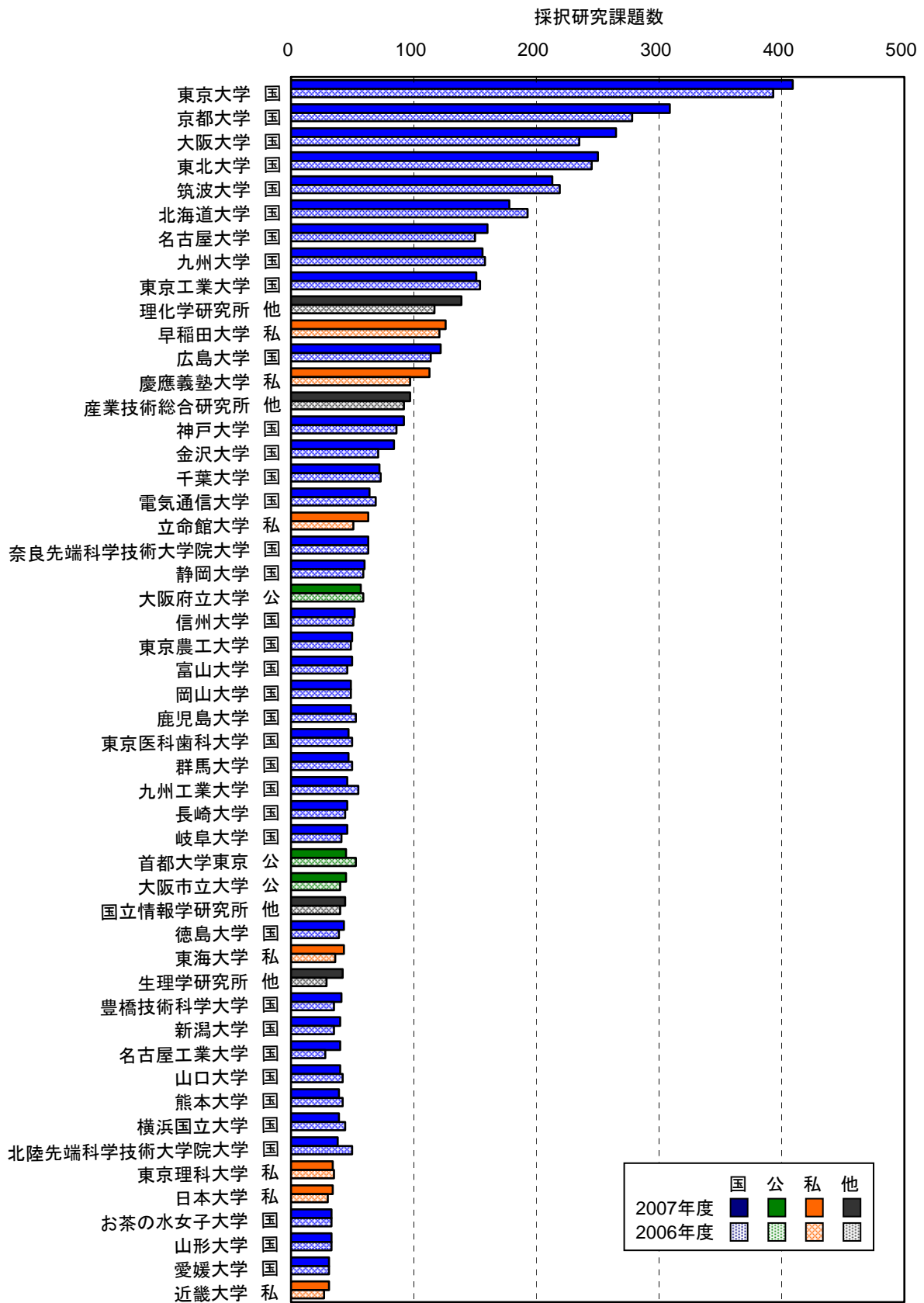


図2-1 総合・新領域系 採択研究課題数上位50位(2007年度)

この総合・新領域系を「分野」別に分けてみると、図2-2に示すように、採択研究課題数の割合は分野：総合領域で70.4%、分野：複合新領域で29.6%であり、分野：総合領域の割合がやや大きくなっている。「分野」別に採択研究課題数を前年度と比較すると、分野：総合領域の伸び率が6.4%、分野：複合新領域の伸び率が4.1%であり、いずれも人文社会系より小さいが、理工系、生物系よりかなり大きい。

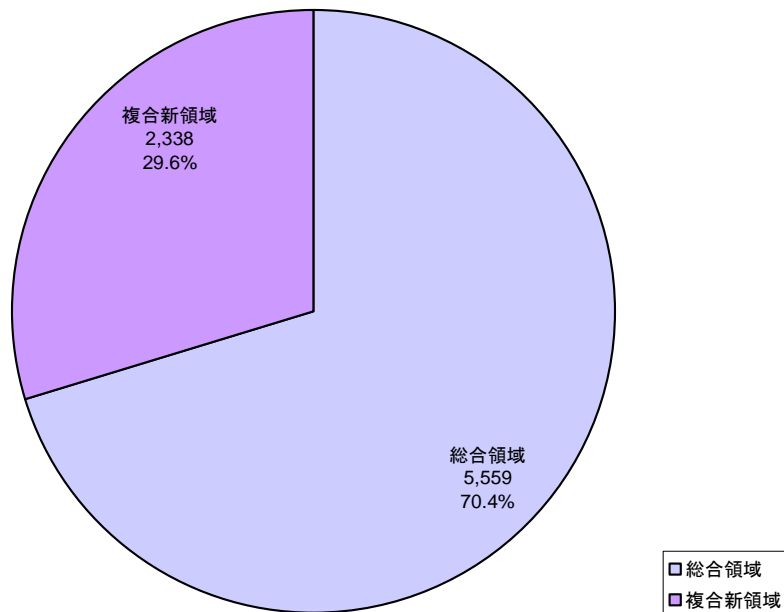


図2-2 2007年度の総合・新領域系「分野」別採択研究課題数

総合・新領域系の各「分野」の採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2に、棒グラフを図2-3～2-4にそれぞれ示す。分野：総合領域、複合新領域ともに前年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の「分野」の特徴も現れている。

分野：総合領域では、旧帝国大学と筑波大学、早稲田大学、慶應義塾大学、理化学研究所、東京工業大学などが上位を占め、多少の順位の変動はあるものの大きな変化はみられない。中位以降での変動はかなり大きく、国立情報学研究所が26位から19位に、立命館大学が同数28位から同数20位に上昇し、北陸先端科学技術大学院大学が同数22位から同数33位に、首都大学東京が30位から同数45位に、メディア教育開発センターが34位から同数45位に後退している。

分野：複合新領域でも、上位20位では、東京大学と京都大学が入れ替わって、京都大学が1位になっているが、大きな順位の変動はない。中位で海洋研究開発機構が同数32位から20位に、立命館大学が同数29位から同数21位に順位を上げている。また、国立極地研究所、奈良先端科学技術大学院大学、一橋大学、上智大学、島根大学、信州大学、森林総合研究所、香川大学が上位50位入りを果たしている。

表2-2 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	266	1,062,580	243	1	国	京都大学	151	713,450	136
2	国	大阪大学	172	593,590	156	2	国	東京大学	143	717,110	150
3	国	筑波大学	166	478,820	181	3	国	東北大学	103	426,220	100
4	国	京都大学	158	553,060	142	4	国	大阪大学	93	353,850	79
5	国	東北大学	147	389,110	145	5	国	北海道大学	82	299,548	93
6	国	名古屋大学	111	252,830	103	6	国	東京工業大学	65	323,040	57
7	私	早稲田大学	109	253,351	103	7	国	九州大学	53	194,310	46
8	国	九州大学	103	297,600	112	8	国	名古屋大学	49	181,200	47
9	私	北海道大学	96	286,650	100	9	他	理化学研究所	47	238,360	34
10	私	慶應義塾大学	94	206,526	80	9	国	筑波大学	47	139,720	38
11	他	理化学研究所	92	215,790	83	11	国	広島大学	44	126,700	43
12	国	東京工業大学	86	292,440	97	12	他	国立環境研究所	30	57,800	32
13	国	広島大学	78	154,000	71	13	国	千葉大学	29	117,500	28
14	他	産業技術総合研究所	68	172,100	62	13	他	産業技術総合研究所	29	100,570	30
15	国	神戸大学	65	152,600	62	13	国	金沢大学	29	76,660	23
16	国	金沢大学	55	122,530	48	16	公	大阪府立大学	28	55,860	30
17	国	奈良先端科学技術大学院大学	51	122,720	54	17	他	物質・材料研究機構	27	108,300	24
18	国	電気通信大学	48	105,190	54	17	国	神戸大学	27	89,300	24
19	他	国立情報学研究所	44	133,140	39	19	国	東京農工大学	22	76,100	25
20	私	立命館大学	43	100,020	35	20	他	海洋研究開発機構	21	84,300	15
20	国	九州工業大学	43	99,830	49	21	私	立命館大学	20	79,200	16
20	国	千葉大学	43	84,800	45	21	他	日本原子力研究開発機構	20	35,440	17
23	他	生理学研究所	42	138,800	29	23	私	慶應義塾大学	19	83,270	17
23	国	群馬大学	42	112,600	43	23	公	首都大学東京	19	61,900	19
23	国	静岡大学	42	78,400	43	23	国	横浜国立大学	19	38,100	25
26	国	信州大学	41	77,570	44	26	国	静岡大学	18	60,100	16
27	国	東京医科歯科大学	38	121,220	40	26	国	長崎大学	18	45,650	16
27	国	富山大学	38	70,400	33	28	国	鹿児島大学	17	40,400	15
29	国	徳島大学	36	106,800	32	28	私	早稲田大学	17	36,960	18
30	国	岡山大学	34	82,060	35	30	国	愛媛大学	16	57,310	20
30	公	大阪市立大学	34	78,900	29	30	国	岐阜大学	16	47,000	19
30	私	東海大学	34	58,200	28	30	私	東京理科大学	16	26,550	17
33	国	名古屋工業大学	32	79,900	22	30	国	電気通信大学	16	26,000	15
33	国	鹿児島大学	32	76,500	38	34	国	岡山大学	15	67,200	14
33	国	北陸先端科学技術大学院大学	32	76,200	43	34	国	茨城大学	15	46,100	11
36	国	豊橋技術科学大学	31	67,600	26	36	国	新潟大学	13	25,060	11
37	国	山口大学	30	44,170	32	37	他	国立極地研究所	12	70,770	8
37	国	岐阜大学	30	43,200	22	37	国	奈良先端科学技術大学院大学	12	53,200	9
39	国	熊本大学	29	69,820	24	37	国	一橋大学	12	37,600	8
39	公	大阪府立大学	29	68,540	29	37	国	富山大学	12	33,500	13
41	国	東京農工大学	28	55,800	24	37	私	上智大学	12	28,300	9
41	国	長崎大学	28	50,100	28	42	国	島根大学	11	37,000	7
41	私	東京電機大学	28	44,200	24	42	国	信州大学	11	33,100	7
44	国	新潟大学	27	93,900	24	42	他	森林総合研究所	11	28,600	8
45	他	メディア教育開発センター	26	65,900	30	42	国	琉球大学	11	27,100	15
45	他	東京都医学研究機構	26	57,200	27	42	国	東京外国語大学	11	25,700	11
45	公	首都大学東京	26	45,900	34	42	公	大阪市立大学	11	21,700	11
48	他	統計数理研究所	25	63,500	23	42	国	香川大学	11	20,910	8
48	国	埼玉大学	25	30,600	23	42	国	鳥取大学	11	20,760	10
50	私	順天堂大学	24	56,000	22	50	国	高知大学	10	39,300	9
50	国	和歌山大学	24	51,000	21	50	他	総合地球環境学研究所	10	35,010	10
50	私	日本大学	24	30,600	18	50	国	熊本大学	10	32,500	18
						50	国	お茶の水女子大学	10	32,100	10
						50	国	豊橋技術科学大学	10	27,700	9
						50	私	日本大学	10	25,100	12
						50	私	青山学院大学	10	21,690	8
						50	公	静岡県立大学	10	20,100	12
						50	他	放射線医学総合研究所	10	15,300	8
						50	国	山口大学	10	13,500	10
						50	国	山形大学	10	11,150	12
合計			5,559	12,638,822	5,223	合計			2,338	7,661,788	2,245

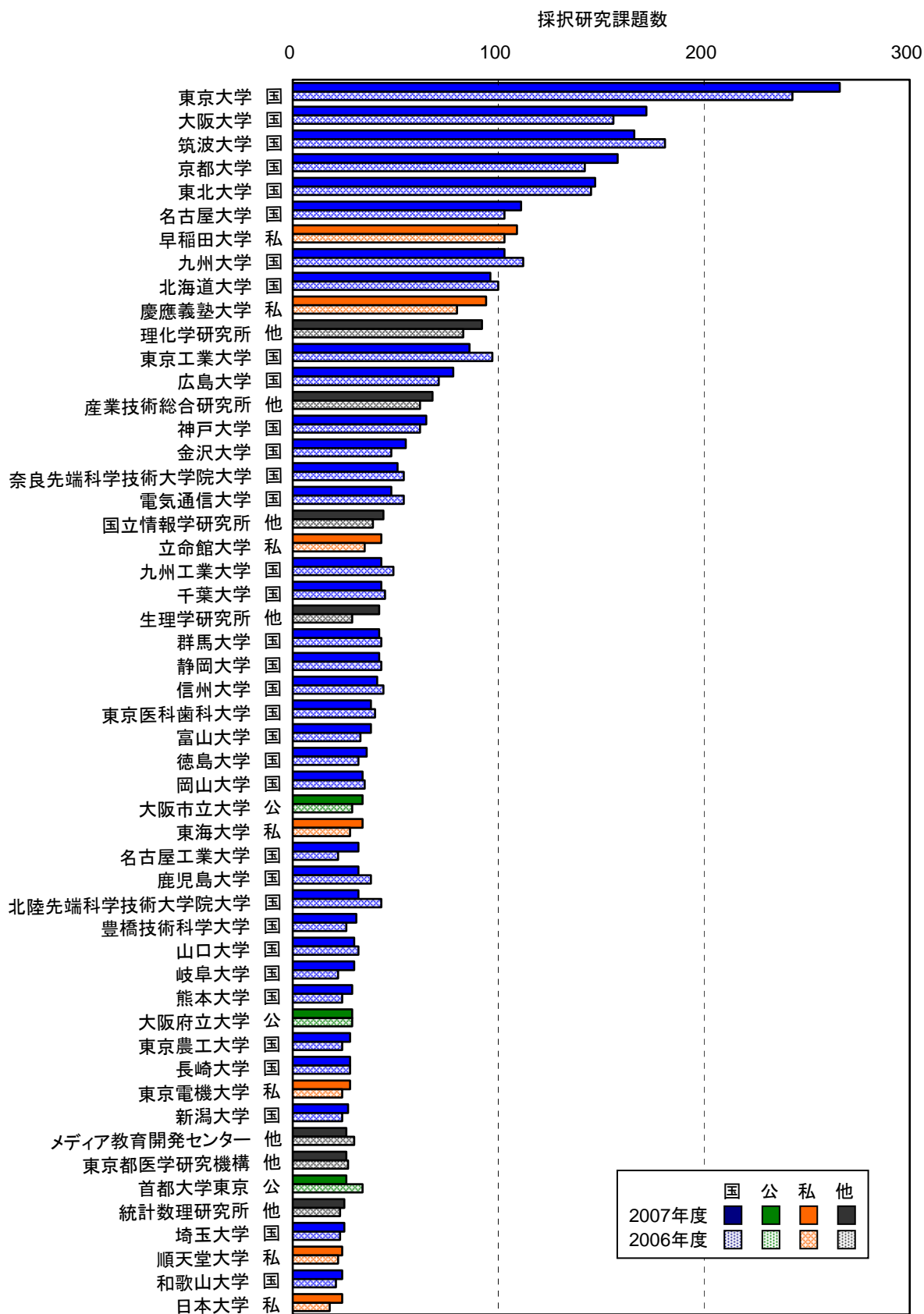


図 2 - 3 総合領域 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

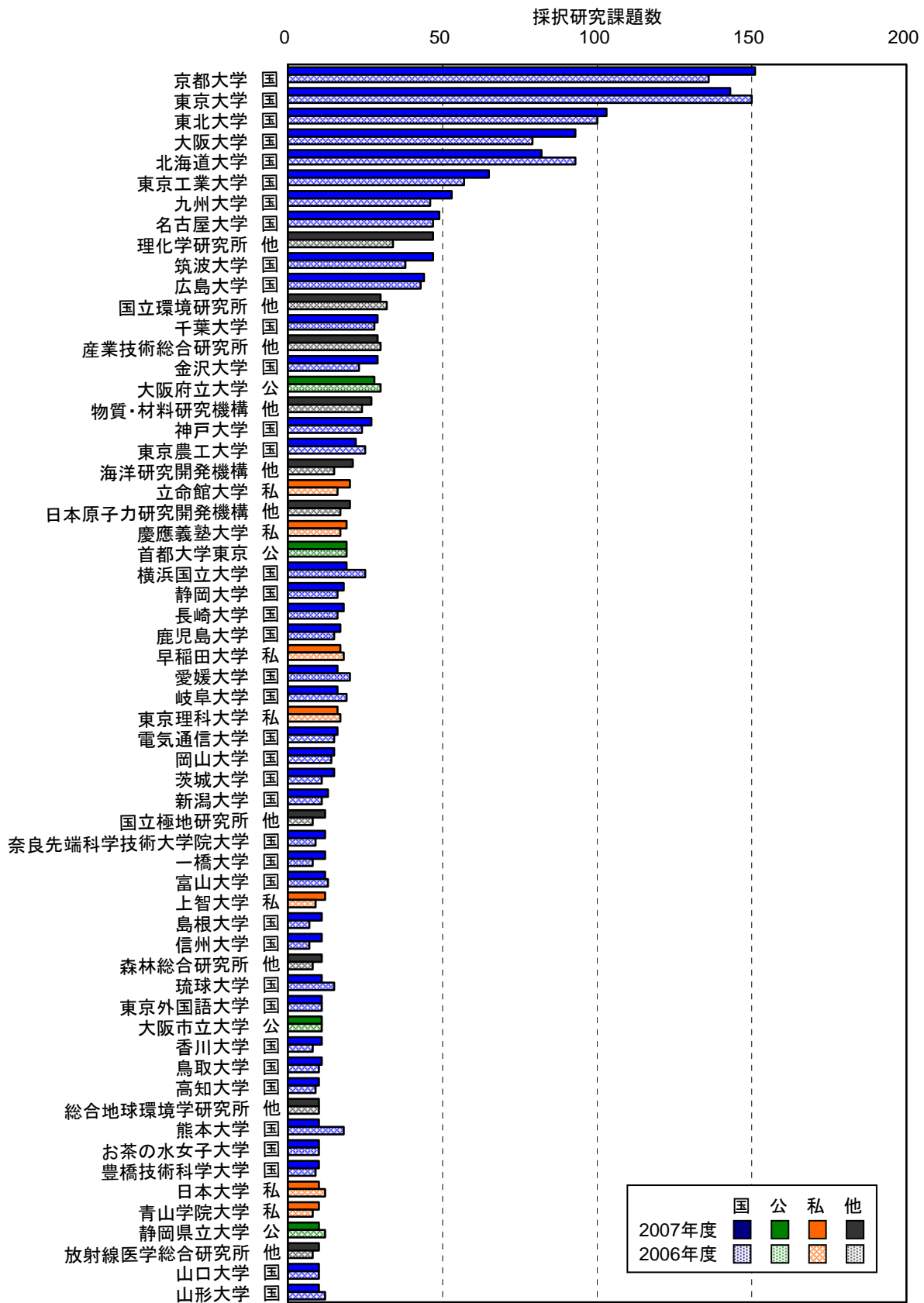


図 2 - 4 複合新領域 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

## 2 分野別

### 2-1 総合領域

分野：総合領域の中の情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-5の円グラフに示す。図2-5から明らかなように、分科：実験動物学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は、採択研究課題数が少なく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

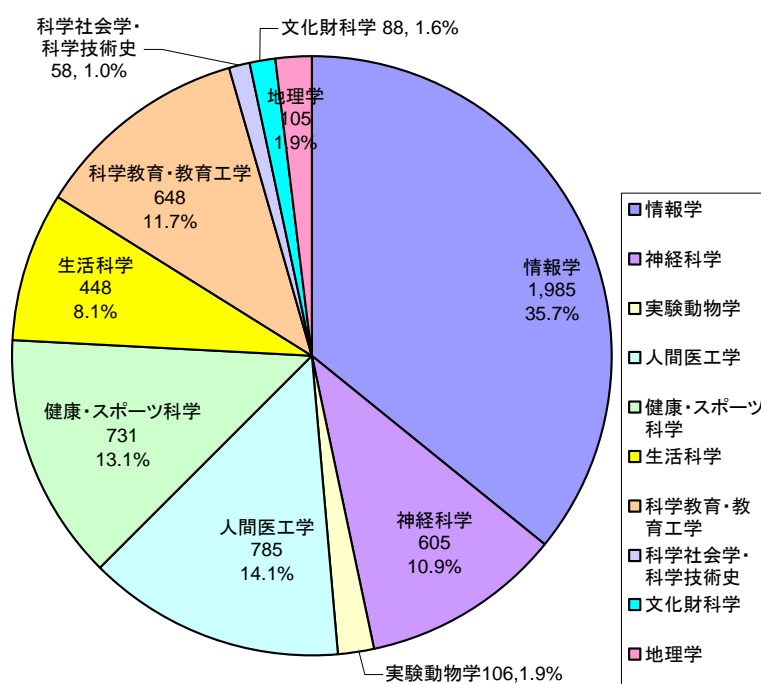


図2-5 2007年度の総合領域「分科」別採択研究課題数

前年度と比較すると、分野：総合領域全体の採択研究課題数は6.4%増えているが、分野：総合領域全体に占める各「分科」の割合は、分科：情報学が前年度の36.6%から35.7%へとやや小さくなり、生活科学が7.5%から8.1%へとやや大きくなっている以外はほとんど変化がない。分科：地理学が前年度より採択研究課題数を2件減らしていることを除けば、伸び率に差はあるものの採択研究課題数は増加している。

以下、情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-3～2-7に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-6～2-10に示す。ただし、分科：実験動物学、生活科学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：情報学では、前年度と比較して、採択研究課題数が 74 件増加し伸び率は 3.9%となっている。東京大学が 2 位の大阪大学との採択研究課題数の差を 46 件として 1 位を独走しており、以下、京都大学、筑波大学、東北大学、東京工業大学、名古屋大学、九州大学と僅差で続く。

分科：神経科学では、採択研究課題数が 37 件増加し伸び率は 6.5%である。理化学研究所、東京大学、生理学研究所、京都大学、慶應義塾大学が上位を占めているが、群馬大学の同数 6 位が注目される。

分科：人間医工学では、採択研究課題数が 42 件増えて伸び率は 5.7%であるが、個々の研究機関の採択研究課題数が少なく、15 位以降の順位が統計的に意味を持つかは不明である。

分科：健康・スポーツ科学では、伸び率が 7.7%と大きく増加しており、早稲田大学と東京大学の採択研究課題数が対前年度比約 20%増加している。鹿屋体育大学、国立スポーツ科学センターなどが上位を占めることなどに変化はない。

分科：生活科学では、分野：総合領域の中では伸び率が 14.3%と 2 番目に大きいですが、採択研究課題数は 56 件増と絶対値は大きくない。日本女子大学が 1 位を守っているが、個々の機関の採択研究課題数の差は小さい。

分科：科学教育・教育工学は伸び率が 8.4%であるが、採択研究課題数は少ない。その中で、メディア教育開発センターが 1 位を守り、広島大学、早稲田大学、国立教育政策研究所などを抑えている。順位をやや下げたものの静岡大学が上位を維持していることも興味深い。



表2-3 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(1)

金額単位/千円

情報学					神経科学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	133	522,970	118	1	他	理化学研究所	59	135,040	47
2	国	大阪大学	87	273,790	84	2	国	東京大学	48	220,300	43
3	国	京都大学	86	302,440	74	3	他	生理学研究所	36	118,200	26
4	国	筑波大学	75	165,760	77	4	国	京都大学	27	85,900	27
5	国	東北大学	69	165,040	71	5	私	慶應義塾大学	26	64,100	18
6	国	東京工業大学	59	190,900	73	6	国	大阪大学	20	100,800	20
7	国	名古屋大学	52	102,430	53	6	国	群馬大学	20	78,900	18
8	国	九州大学	51	126,080	56	8	国	東京医科歯科大学	19	54,300	18
9	他	国立情報学研究所	43	131,940	38	9	他	東京都医学研究機構	17	35,700	18
10	国	奈良先端科学技術大学院大学	42	97,400	44	10	他	国立精神・神経センター	15	34,420	9
11	国	北海道大学	40	79,560	42	11	国	九州大学	14	49,200	16
12	私	早稲田大学	39	83,430	35	12	国	名古屋大学	13	34,400	14
12	私	慶應義塾大学	39	80,210	34	13	他	産業技術総合研究所	12	23,700	11
14	他	産業技術総合研究所	38	106,100	36	14	国	北海道大学	11	47,300	12
15	国	電気通信大学	37	60,590	42	15	国	新潟大学	10	52,100	8
16	国	九州工業大学	34	77,230	39	15	国	東北大学	10	24,800	9
17	私	立命館大学	31	75,820	24	17	国	富山大学	8	13,900	8
18	国	北陸先端科学技術大学院大学	29	63,000	36	17	国	筑波大学	8	13,800	11
19	国	豊橋技術科学大学	26	59,200	19	19	公	京都府立医科大学	7	15,670	6
20	他	統計数理研究所	25	63,500	23	20	国	金沢大学	6	22,400	8
21	国	神戸大学	24	49,100	18	20	国	神戸大学	6	15,200	9
22	国	静岡大学	21	46,500	20	20	国	熊本大学	6	14,500	8
22	国	名古屋工業大学	21	36,500	16	20	私	兵庫医科大学	6	13,450	5
22	公	広島市立大学	21	25,920	26	20	私	東京慈恵会医科大学	6	8,600	6
25	国	広島大学	20	33,600	20	25	国	千葉大学	5	14,500	5
26	他	理化学研究所	18	24,760	15	25	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	14,120	4
27	国	和歌山大学	17	37,900	15	25	他	基礎生物学研究所	5	10,100	3
28	国	東京農工大学	16	30,100	15	25	国	山口大学	5	5,570	4
28	公	大阪府立大学	16	28,650	19	29	私	順天堂大学	4	16,100	6
30	国	千葉大学	15	27,500	15	29	他	大阪バイオサイエンス研究所	4	13,700	1
30	他	情報通信研究機構	15	27,350	7	29	公	和歌山県立医科大学	4	12,600	3
30	私	東京電機大学	15	16,100	12	29	公	福島県立医科大学	4	10,600	6
						29	私	北里大学	4	9,300	6
						29	他	国立遺伝学研究所	4	7,600	3
						29	私	藤田保健衛生大学	4	5,600	4
						29	私	埼玉医科大学	4	4,600	3
						29	私	日本医科大学	4	4,100	4
合計			1,985	4,437,210	1,911	合計			605	1,747,290	568

表2-4 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(2)

金額単位/千円

実験動物学					人間医工学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	大阪大学	7	30,300	6	1	国	東北大学	48	153,870	51
2	国	京都大学	6	25,200	4	2	国	大阪大学	36	115,800	28
2	他	実験動物中央研究所	6	19,700	6	3	国	東京大学	30	164,300	37
2	他	理化学研究所	6	14,400	11	4	国	北海道大学	23	87,290	23
5	国	筑波大学	5	58,970	3	5	国	京都大学	22	100,600	18
5	国	東京大学	5	10,000	5	5	国	九州大学	22	85,700	21
7	国	熊本大学	4	20,100	1	7	国	金沢大学	20	39,830	17
7	他	東京都医学研究機構	4	15,400	4	8	私	慶應義塾大学	17	40,516	19
7	国	北海道大学	4	11,000	6	9	国	鹿児島大学	14	46,200	19
7	国	名古屋大学	4	9,400	2	10	国	名古屋大学	13	41,200	9
7	私	東海大学	4	6,800	5	11	国	東京医科歯科大学	12	50,620	18
12	私	自治医科大学	3	8,800	2	11	国	広島大学	12	26,100	13
12	国	金沢大学	3	7,600	2	13	他	国立身体障害者リハビリテーションセンター	11	19,040	4
14	私	近畿大学	2	6,200	2	13	私	藤田保健衛生大学	11	13,500	12
14	国	信州大学	2	5,700	2	15	国	東京工業大学	10	46,760	8
14	国	浜松医科大学	2	3,800	2	15	国	岡山大学	10	32,460	8
14	私	順天堂大学	2	3,400	1	15	私	川崎医科大学	10	32,100	10
14	私	慶應義塾大学	2	3,200	1	15	他	産業技術総合研究所	10	20,500	11
14	私	東京理科大学	2	2,570	2	15	私	北里大学	10	12,100	12
14	国	佐賀大学	2	1,700	1	20	私	東京電機大学	9	24,000	7
						20	国	信州大学	9	23,500	5
						20	国	神戸大学	9	22,100	9
						20	私	早稲田大学	9	18,600	12
						24	国	筑波大学	8	26,200	7
						24	私	福岡大学	8	23,380	7
						24	他	国立循環器病センター	8	14,600	6
						24	国	長崎大学	8	8,400	3
						28	国	徳島大学	7	24,400	4
						28	国	千葉大学	7	16,900	7
						28	私	東京慈恵会医科大学	7	10,800	8
						28	公	首都大学東京	7	9,600	8
合計			106	330,340	99	合計			785	2,072,876	743

表2-5 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(3)

金額単位/千円

健康・スポーツ科学					生活科学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	筑波大学	52	165,890	66	1	私	日本女子大学	13	32,200	12
2	私	早稲田大学	39	90,400	33	2	公	大阪市立大学	11	41,500	8
3	国	東京大学	23	63,610	19	3	公	岡山県立大学	10	15,745	7
4	国	鹿屋体育大学	19	34,200	18	4	国	奈良女子大学	9	37,200	11
5	国	広島大学	16	34,700	12	5	私	武庫川女子大学	8	11,400	5
6	他	国立スポーツ科学センター	15	16,630	11	5	私	神戸女子大学	8	11,000	6
7	国	大阪大学	14	40,100	12	5	私	岐阜女子大学	8	10,600	9
7	私	順天堂大学	14	27,800	13	8	国	お茶の水女子大学	7	11,400	10
9	国	名古屋大学	11	21,800	11	8	私	中村学園大学	7	8,800	5
9	国	神戸大学	11	18,900	10	10	他	農業・食品産業技術総合研究機構	6	11,000	2
11	他	国立健康・栄養研究所	10	36,570	8	10	公	静岡県立大学	6	8,500	4
12	私	東海大学	9	7,800	7	12	私	大妻女子大学	5	12,300	4
13	国	東北大学	8	23,200	4	12	私	文化女子大学	5	10,600	2
13	国	金沢大学	8	11,200	7	12	公	県立広島大学	5	9,600	2
13	国	千葉大学	8	10,800	10	12	国	静岡大学	5	8,300	4
16	国	東京工業大学	7	16,600	5	12	私	昭和女子大学	5	8,300	6
16	国	京都大学	7	14,920	6	12	国	大阪教育大学	5	4,300	6
16	私	大阪体育大学	7	10,400	7	18	公	京都府立大学	4	7,600	4
19	私	福岡大学	6	34,800	6	18	国	琉球大学	4	7,300	4
19	国	徳島大学	6	23,600	8	18	国	岐阜大学	4	7,200	3
19	国	九州大学	6	17,720	5	18	国	東京学芸大学	4	6,900	4
19	国	琉球大学	6	10,200	3	18	私	同志社女子大学	4	6,800	2
19	国	山口大学	6	8,600	7	18	私	和洋女子大学	4	6,700	4
19	国	岐阜大学	6	5,400	6	18	私	椋山女学園大学	4	5,790	5
25	国	北海道大学	5	18,600	6	18	公	山口県立大学	4	5,700	4
25	国	弘前大学	5	17,900	5	18	私	近畿大学	4	5,400	1
25	他	東京都高齢者研究・福祉振興財団	5	17,300	5	18	私	女子栄養大学	4	4,340	3
25	国	三重大学	5	14,000	6	18	国	奈良教育大学	4	3,900	4
25	私	慶應義塾大学	5	8,300	3	18	国	兵庫教育大学	4	3,800	3
25	私	中京大学	5	6,300	5	18	国	秋田大学	4	3,600	4
25	国	岡山大学	5	5,600	4	18	私	金城学院大学	4	3,300	3
25	国	福井大学	5	5,500	4						
25	公	県立広島大学	5	5,000	4						
25	国	鳴門教育大学	5	3,300	4						
合計			731	1,402,030	679	合計			448	768,495	392

表2-6 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(4)

金額単位/千円

科学教育・教育工学					科学社会学・科学技術史						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	メディア教育開発センター	22	58,300	26	1	国	東京大学	6	8,700	6
2	国	広島大学	17	31,400	18	2	私	日本大学	3	3,400	2
3	私	早稲田大学	15	29,321	14	3	私	早稲田大学	2	8,600	2
4	他	国立教育政策研究所	14	44,800	12	3	国	神戸大学	2	6,700	2
5	国	静岡大学	13	20,000	14	3	私	立命館大学	2	5,800	2
5	国	筑波技術大学	13	19,900	14	3	私	順天堂大学	2	3,200	1
7	国	東京学芸大学	11	28,100	8	3	私	金沢工業大学	2	2,900	1
8	国	神戸大学	10	34,900	11	3	国	大阪大学	2	2,400	1
8	国	東京大学	10	23,900	6	3	私	京都産業大学	2	1,700	1
8	国	信州大学	10	19,600	10	3	公	大阪市立大学	2	1,300	1
8	国	北海道教育大学	10	11,900	8						
12	国	徳島大学	9	26,700	10						
12	国	宮城教育大学	9	22,000	3						
14	私	金沢工業大学	8	12,600	6						
15	国	北海道大学	7	33,100	5						
15	国	東京工業大学	7	24,600	10						
15	他	国立科学博物館	7	21,400	6						
15	国	筑波大学	7	16,600	7						
15	国	金沢大学	7	14,900	6						
15	国	鹿児島大学	7	10,900	4						
15	国	名古屋大学	7	10,700	7						
15	国	京都教育大学	7	9,100	5						
23	国	富山大学	6	12,000	6						
24	国	電気通信大学	5	32,900	6						
24	国	東京農工大学	5	10,200	4						
24	国	香川大学	5	10,200	3						
24	国	茨城大学	5	8,900	5						
24	国	宮崎大学	5	7,400	5						
24	国	東北大学	5	7,100	4						
24	国	三重大学	5	6,800	5						
24	国	愛媛大学	5	6,500	5						
24	他	大学評価・学位授与機構	5	6,200	2						
24	国	上越教育大学	5	6,100	8						
24	他	東京工業高等専門学校	5	5,000	2						
24	国	埼玉大学	5	4,900	6						
		合計	648	1,212,941	598			合計	58	111,000	56

表 2 - 7 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度) (5)

金額単位/千円

文化財科学					地理学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	東京文化財研究所	8	29,700	7	1	国	筑波大学	8	26,500	6
2	他	元興寺文化財研究所	6	16,900	3	2	公	首都大学東京	7	19,800	7
2	国	東京芸術大学	6	15,900	4	3	国	東京大学	6	25,900	7
4	他	奈良文化財研究所	5	24,800	3	3	国	広島大学	6	14,200	3
4	国	富山大学	5	17,700	4	5	国	名古屋大学	5	16,500	4
6	国	東京大学	4	19,500	1	6	国	金沢大学	4	17,700	3
6	国	名古屋大学	4	14,800	2	7	私	立命館大学	3	11,000	2
6	他	国立歴史民俗博物館	4	6,920	3	7	私	立正大学	3	5,100	3
9	私	早稲田大学	2	20,100	2	7	国	北海道大学	3	4,700	2
9	国	東北大学	2	5,900	2	10	国	東京学芸大学	2	9,500	3
9	国	北海道大学	2	4,000	2	10	国	京都大学	2	8,700	4
9	私	東北芸術工科大学	2	1,600	2	10	国	千葉大学	2	6,400	3
						10	国	東北大学	2	6,100	2
						10	国	富山大学	2	2,900	1
						10	国	秋田大学	2	2,400	1
						10	国	埼玉大学	2	2,300	2
						10	国	九州大学	2	1,400	3
						10	私	慶應義塾大学	2	1,300	2
合計			88	294,340	70	合計			105	262,300	107

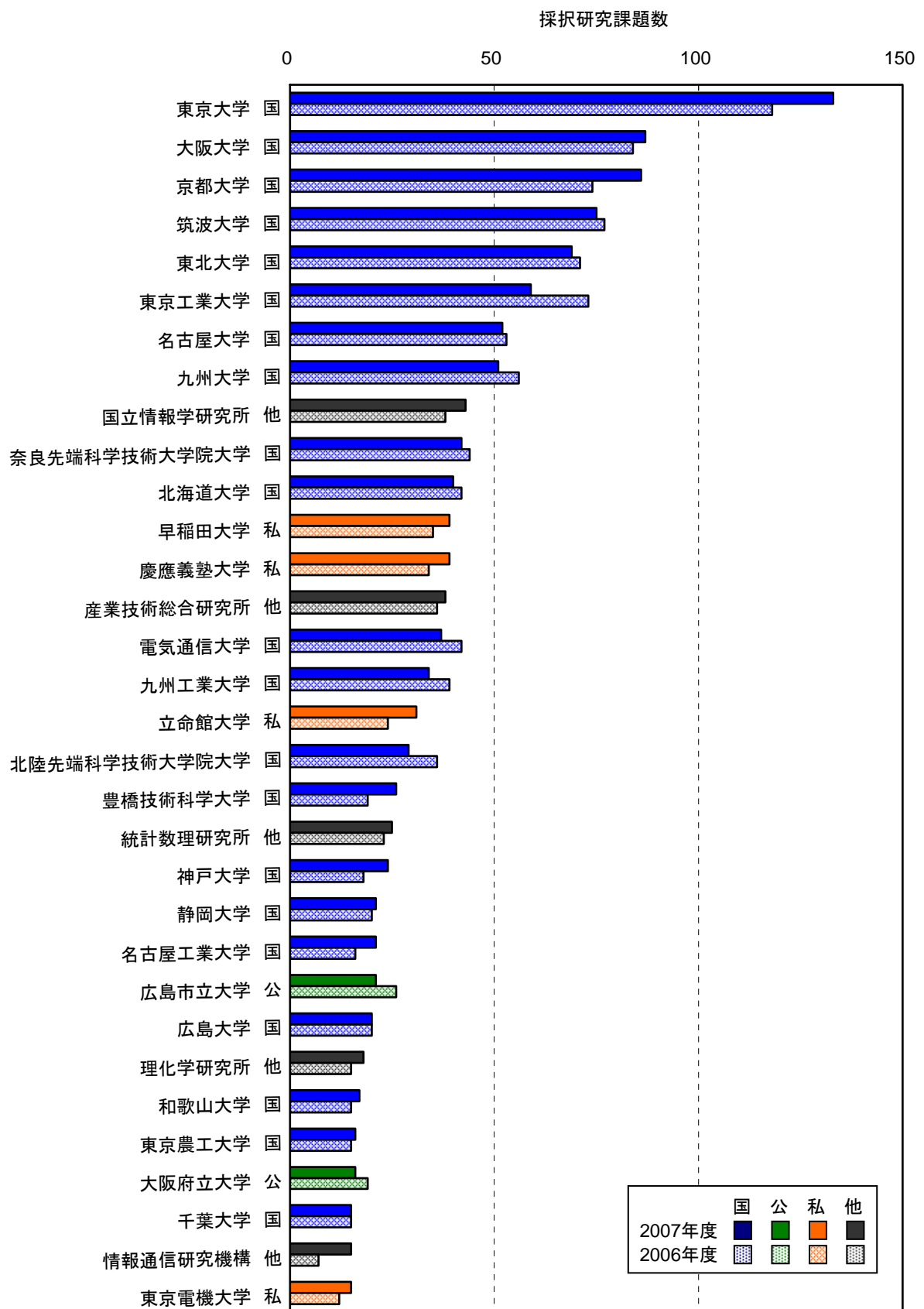
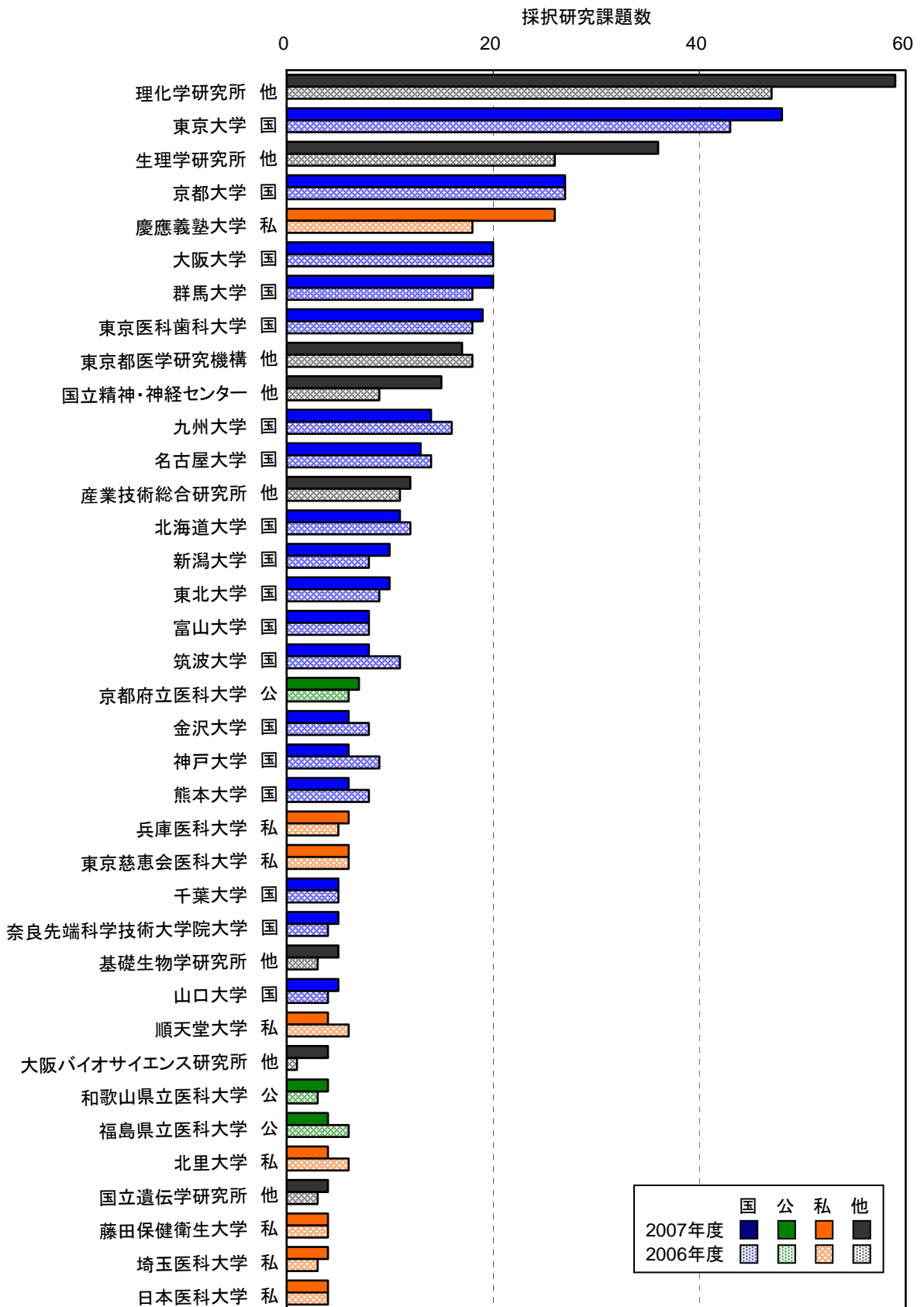


図 2 - 6 情報学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)



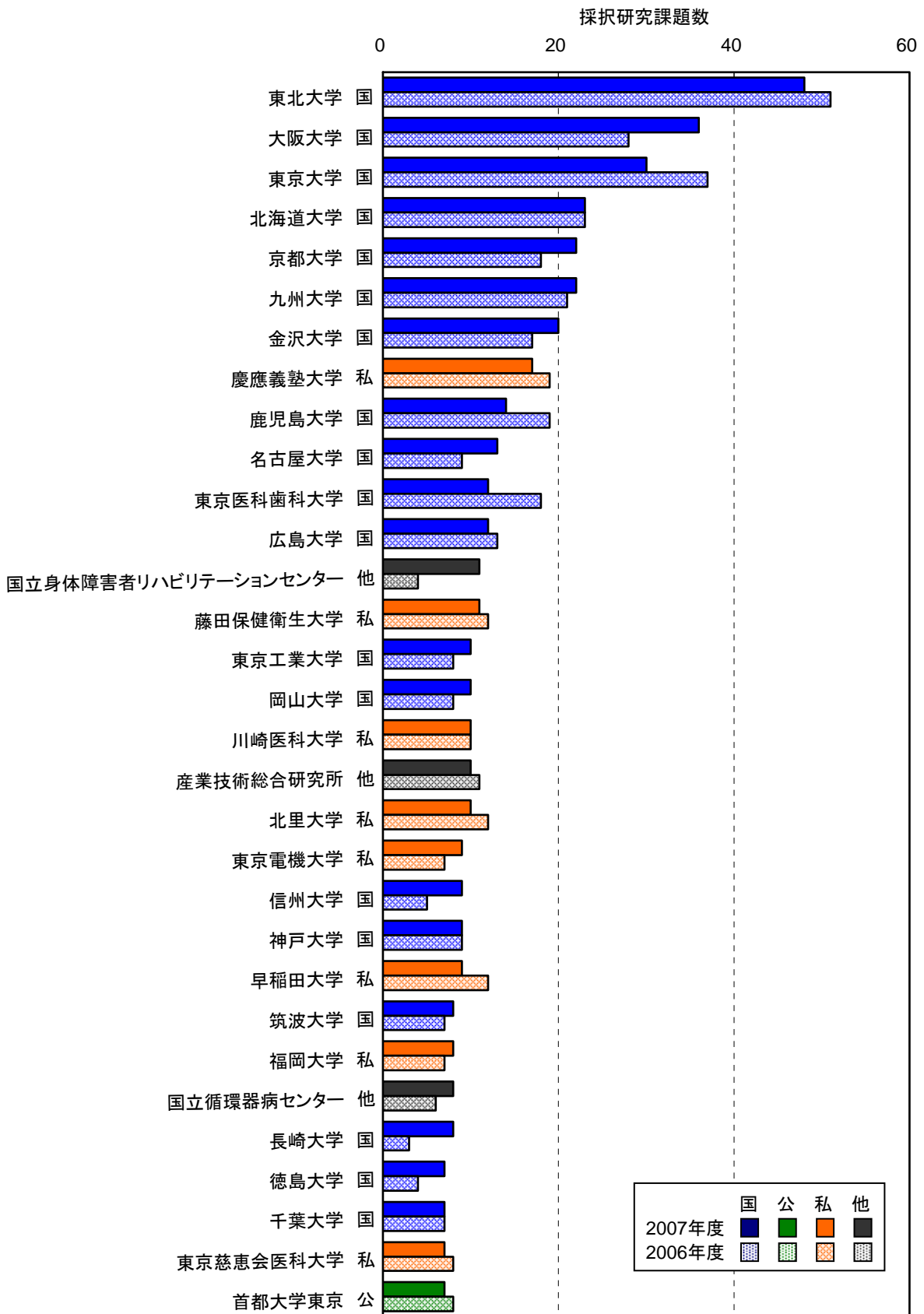


図 2 - 8 人間医工学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)





図 2 - 9 健康・スポーツ科学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

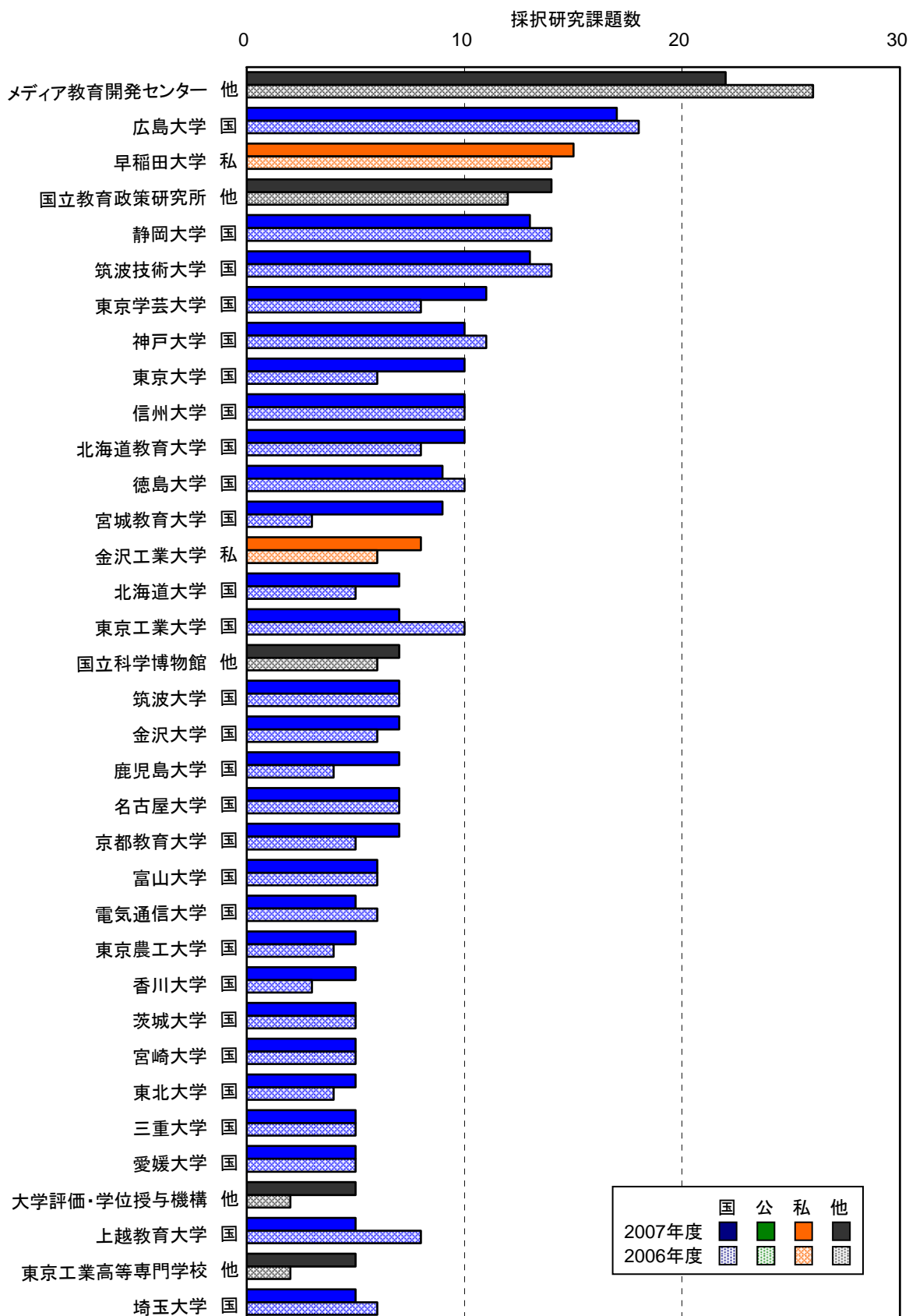


図2-10 科学教育・教育工学 採択研究課題数上位30位(2007年度)

## 2-2 複合新領域

分野：複合新領域の中の環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの「分科」ごとの採択研究課題数を図2-11の円グラフに示す。分野：総合領域と同様に、採択研究課題数が概ね200件以下の分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーは、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

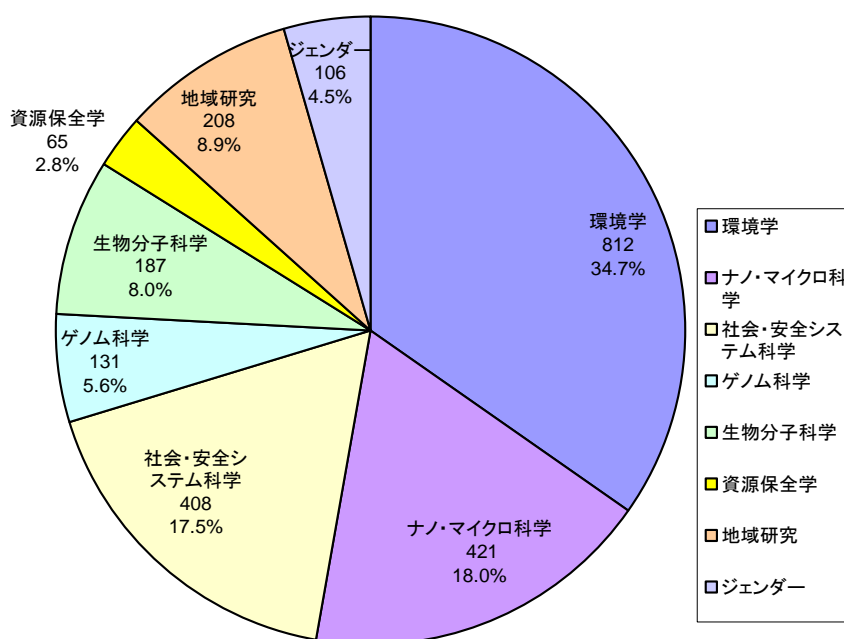


図2-11 2007年度の複合新領域「分科」別採択研究課題数

前年度と比較すると、分野：複合新領域全体の採択研究課題数の伸び率は4.1%であるが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。最も採択研究課題数が増えたのは分科：地域研究の37件であり、ナノ・マイクロ科学、ゲノム科学では採択研究課題数を3件ずつ減らしている。

分野：複合新領域全体に占める各「分科」の割合は前年度と比べて大きな変化はみられないが、分科：環境学が35.5%から34.7%へ、分科：ナノ・マイクロ科学が18.9%から18.0%へと小さくなり、分科：社会・安全システム科学が16.9%から17.5%へと大きくなっている。採択研究課題数の伸び率が一番大きい分科：地域研究では、7.6%から8.9%に割合を大きくしている。

以下、環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-8～2-11に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-12～2-14に示す。ただし、分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーは採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

まず、分科：環境学では、上位の機関の順位はほとんど変化していない。海洋研究開発機構が同数

15位から8位に、九州大学が同数12位から10位に順位を上げ、愛媛大学が同数10位から同数17位に順位を下げているが、採択研究課題数では数件の差となっているため、順位の変化に統計的な意味があるかは不明である。

分科：ナノ・マイクロ科学では、東京大学が1位になり、理化学研究所が採択研究課題数を9件から18件に倍増させ同数10位から7位に、名古屋大学も同数10位から8位に上昇している。これに対して早稲田大学が同数10位から同数16位に後退している。

分科：社会・安全システム科学では、上位の機関に大きな順位の変動はない。

分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーでも前年度と比較して1～2件しか採択研究課題数が変わらないため大きな変化はない。

表2-8 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(1)

金額単位/千円

環境学					ナノ・マイクロ科学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	北海道大学	45	174,000	46	1	国	東京大学	39	179,990	37
2	国	東京大学	39	223,600	43	2	国	東北大学	35	168,000	44
3	国	京都大学	38	184,320	34	3	国	大阪大学	32	153,860	32
4	国	東北大学	29	134,500	29	4	国	東京工業大学	24	116,540	19
5	他	国立環境研究所	26	52,300	29	4	他	物質・材料研究機構	24	92,100	22
6	国	名古屋大学	23	84,800	25	6	国	京都大学	19	72,400	24
7	国	広島大学	20	77,100	24	7	他	理化学研究所	18	96,800	9
8	他	海洋研究開発機構	18	73,800	10	8	国	名古屋大学	13	48,400	9
9	国	東京農工大学	17	66,700	14	9	国	九州大学	12	50,600	15
10	国	九州大学	16	67,010	12	10	国	北海道大学	11	31,700	15
11	国	大阪大学	14	34,990	10	11	国	筑波大学	10	35,700	6
12	国	金沢大学	13	36,100	13	12	他	分子科学研究所	9	66,600	6
13	国	東京工業大学	12	60,400	10	13	他	日本原子力研究開発機構	8	16,090	6
13	国	筑波大学	12	57,120	10	14	他	産業技術総合研究所	7	15,200	12
13	国	茨城大学	12	37,800	10	15	国	静岡大学	6	17,100	5
13	公	大阪府立大学	12	30,200	12	16	他	NTT物性科学基礎研究所	5	31,200	3
17	他	国立極地研究所	11	69,470	8	16	私	立命館大学	5	27,300	3
17	国	愛媛大学	11	43,510	13	16	国	神戸大学	5	25,400	7
17	国	千葉大学	11	35,800	10	16	国	信州大学	5	17,200	5
17	他	日本原子力研究開発機構	11	18,000	9	16	国	金沢大学	5	16,560	3
21	国	島根大学	10	35,200	7	16	私	早稲田大学	5	9,860	9
21	他	総合地球環境学研究所	10	35,010	9	16	国	電気通信大学	5	8,900	5
21	国	長崎大学	10	26,000	8	16	国	広島大学	5	8,200	4
21	他	放射線医学総合研究所	10	15,300	8	24	国	香川大学	4	12,100	3
25	他	産業技術総合研究所	9	34,270	12	24	国	奈良先端科学技術大学院大学	4	11,300	1
25	国	静岡大学	9	28,800	7	24	私	東京理科大学	4	8,100	4
25	国	豊橋技術科学大学	9	26,500	7	24	国	横浜国立大学	4	6,200	4
25	国	鹿児島大学	9	22,300	9	24	国	北陸先端科学技術大学院大学	4	4,080	4
25	国	横浜国立大学	9	20,900	15	29	他	高エネルギー加速器研究機構	3	10,700	2
30	国	富山大学	8	25,000	7	29	公	大阪府立大学	3	8,260	6
30	国	岡山大学	8	22,100	5	29	他	情報通信研究機構	3	7,200	3
						29	国	新潟大学	3	5,860	2
						29	国	京都工芸繊維大学	3	4,950	2
合計			812	2,678,490	797	合計			421	1,642,570	424

表2-9 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(2)

金額単位/千円

社会・安全システム科学					ゲノム科学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	30	97,450	30	1	国	東京大学	12	58,100	17
2	国	東京大学	23	108,520	22	2	他	理化学研究所	10	72,600	8
3	国	東京工業大学	21	108,100	21	3	国	大阪大学	9	30,000	7
4	国	筑波大学	15	34,400	12	4	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	40,200	7
5	国	大阪大学	12	39,100	10	4	他	産業技術総合研究所	7	37,000	2
5	国	九州大学	12	39,100	10	6	国	京都大学	5	24,660	5
7	国	広島大学	11	16,100	10	6	国	東京医科歯科大学	5	7,160	5
8	国	東北大学	10	42,200	9	8	私	慶應義塾大学	4	32,870	4
9	国	電気通信大学	9	14,500	9	8	国	東京工業大学	4	25,200	4
10	他	防災科学技術研究所	8	30,100	6	8	他	国立遺伝学研究所	4	24,300	4
10	公	首都大学東京	8	19,300	7	8	国	鳥取大学	4	5,360	3
12	国	北海道大学	7	24,200	9	12	公	首都大学東京	3	14,000	2
12	私	東京理科大学	7	8,360	7	12	他	かずさディーエヌエー研究所	3	9,000	4
14	国	名古屋大学	6	19,100	4	12	国	九州大学	3	7,300	3
14	私	中央大学	6	10,000	2	15	私	東海大学	2	21,800	2
16	国	神戸大学	5	26,000	6	15	国	宮崎大学	2	12,100	2
16	国	千葉大学	5	17,700	7	15	国	熊本大学	2	11,800	2
16	私	南山大学	5	15,580	6	15	私	東京理科大学	2	5,900	2
16	国	長岡技術科学大学	5	10,800	5	15	他	三菱化学生命科学研究所	2	4,500	2
16	国	金沢大学	5	9,300	3	15	国	金沢大学	2	3,800	2
16	国	弘前大学	5	6,500	3	15	公	大阪市立大学	2	3,200	1
16	公	大阪府立大学	5	4,500	5	15	私	埼玉医科大学	2	2,500	1
23	私	早稲田大学	4	10,300	4	15	私	北里大学	2	2,000	4
23	国	横浜国立大学	4	9,500	5	15	他	農業生物資源研究所	2	1,200	2
23	国	長崎大学	4	7,950	4						
23	国	山口大学	4	6,800	3						
23	国	名古屋工業大学	4	6,400	1						
23	他	森林総合研究所	4	6,200	3						
23	国	新潟大学	4	4,000	2						
30	国	岡山大学	3	17,700	5						
30	国	高知大学	3	10,600	2						
30	私	慶應義塾大学	3	8,100	2						
30	公	岩手県立大学	3	7,000	2						
30	国	福井大学	3	6,300	2						
30	私	芝浦工業大学	3	4,780	3						
30	国	香川大学	3	4,400	1						
30	国	東京農工大学	3	3,100	3						
30	公	兵庫県立大学	3	2,800	4						
30	私	上智大学	3	2,800	1						
30	私	神奈川大学	3	2,200	3						
		合計	408	1,043,400	379			合計	131	545,618	134

表2-10 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(3)

金額単位/千円

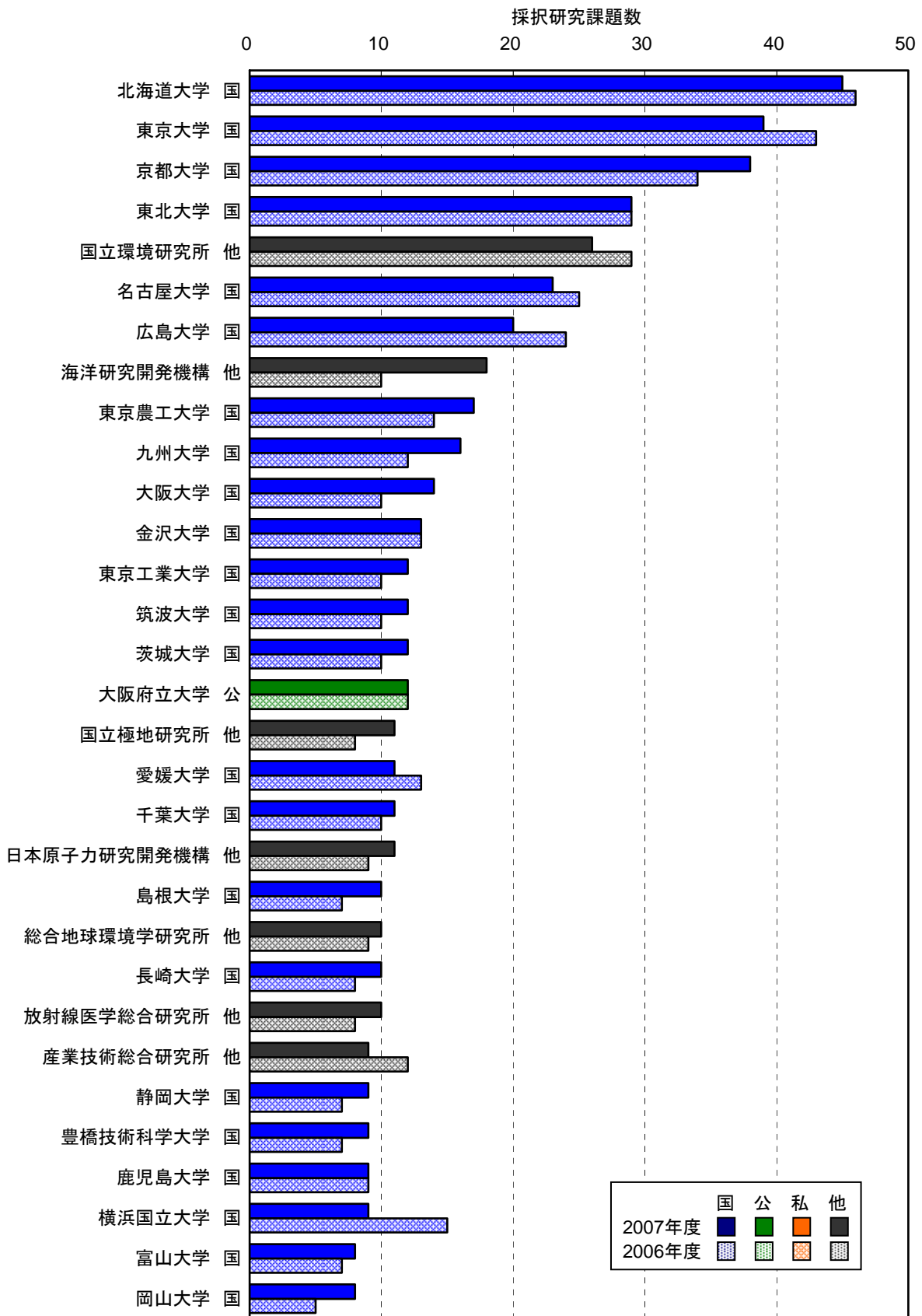
生物分子科学					資源保全学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	大阪大学	21	85,100	14	1	国	京都大学	4	19,800	2
2	国	京都大学	15	70,400	14	1	他	国立環境研究所	4	5,500	3
2	国	東北大学	15	57,600	10	3	国	東京大学	3	16,600	3
2	他	理化学研究所	15	54,560	13	3	国	九州大学	3	13,900	2
5	国	東京大学	9	65,900	13	3	国	琉球大学	3	4,600	4
5	国	北海道大学	9	28,900	10	6	他	森林総合研究所	2	15,200	1
7	国	千葉大学	7	29,300	4	6	私	酪農学園大学	2	14,400	3
8	国	名古屋大学	5	21,700	4	6	国	千葉大学	2	12,300	2
8	私	慶應義塾大学	5	13,900	3	6	国	鹿児島大学	2	5,800	1
10	公	大阪市立大学	4	13,100	4	6	国	岐阜大学	2	3,800	2
10	国	東京工業大学	4	12,800	3	6	国	北海道大学	2	2,200	2
10	国	筑波大学	4	4,400	5	6	私	玉川大学	2	1,500	2
13	国	岐阜大学	3	18,500	6						
13	公	静岡県立大学	3	11,600	4						
13	公	大阪府立大学	3	4,800	3						
13	他	産業技術総合研究所	3	4,700	2						
17	国	金沢大学	2	9,400	1						
17	他	高エネルギー加速器研究機構	2	9,300	3						
17	国	東京農工大学	2	6,300	2						
17	私	京都薬科大学	2	4,600	2						
17	私	北里大学	2	3,800	0						
17	国	広島大学	2	3,500	1						
17	国	九州大学	2	3,100	1						
17	国	群馬大学	2	2,700	2						
17	国	三重大学	2	2,300	2						
17	私	近畿大学	2	2,170	2						
17	国	長崎大学	2	2,100	2						
17	他	サントリー 生物有機化学研究所	2	2,000	4						
17	私	武蔵野大学	2	1,800	2						
17	私	岡山理科大学	2	1,700	2						
合計			187	640,510	175	合計			65	196,400	63

表2-11 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(4)

金額単位/千円

地域研究					ジェンダー						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	39	239,520	26	1	国	一橋大学	6	11,900	4
2	国	東京大学	16	50,200	12	2	国	お茶の水女子大学	5	19,000	6
3	国	神戸大学	10	28,000	6	3	公	大阪府立大学	4	3,300	3
3	国	東京外国語大学	10	24,400	10	4	私	立命館大学	3	7,100	2
3	国	東北大学	10	19,200	6	4	国	東北大学	3	2,620	2
6	国	北海道大学	7	36,800	9	6	国	大阪外国語大学	2	17,300	2
6	私	立命館大学	7	23,700	6	6	国	東京大学	2	14,200	3
8	国	一橋大学	5	23,100	3	6	私	昭和女子大学	2	7,700	2
8	私	上智大学	5	10,600	6	6	他	国立女性教育会館	2	6,700	2
8	私	龍谷大学	5	8,500	1	6	国	大阪大学	2	3,200	2
11	国	広島大学	4	14,700	4	6	国	九州大学	2	2,300	1
11	私	法政大学	4	14,000	2	6	私	国際基督教大学	2	2,200	0
13	国	九州大学	3	11,000	2	6	私	天理大学	2	2,200	1
13	国	琉球大学	3	9,400	2	6	私	日本大学	2	1,800	2
13	私	青山学院大学	3	8,950	3	6	国	金沢大学	2	1,500	1
13	国	大阪大学	3	7,600	3	6	国	名古屋工業大学	2	1,500	2
13	国	筑波大学	3	3,800	2						
13	国	鹿児島大学	3	3,700	2						
19	国	お茶の水女子大学	2	7,800	2						
19	私	早稲田大学	2	7,300	1						
19	私	日本女子大学	2	6,600	2						
19	私	慶應義塾大学	2	6,000	2						
19	私	南山大学	2	4,600	1						
19	国	大阪外国語大学	2	2,600	0						
19	国	山形大学	2	2,500	2						
19	公	島根県立大学	2	1,900	2						
19	私	東洋大学	2	1,600	1						
合計			208	703,380	171	合計			106	211,420	102





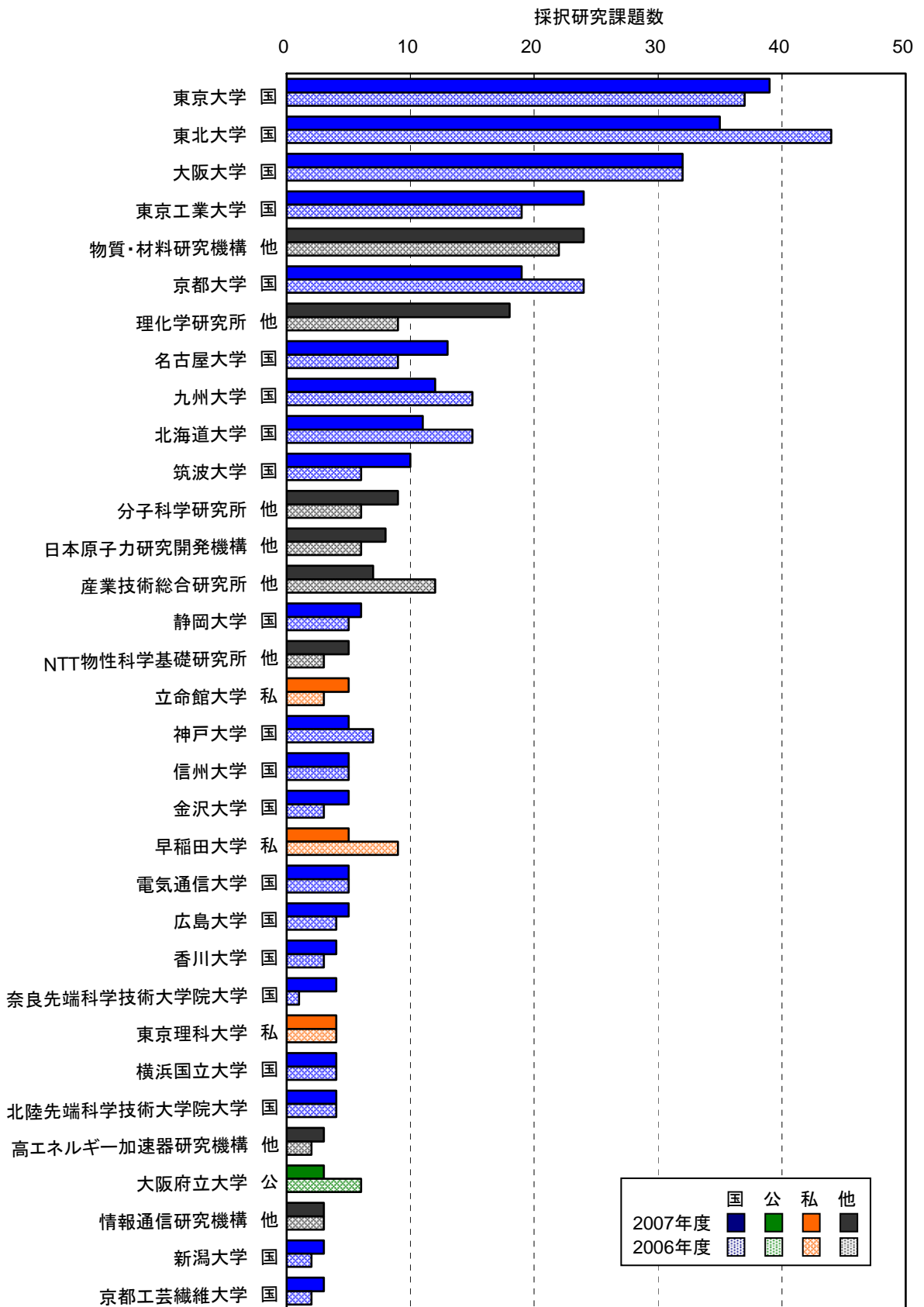
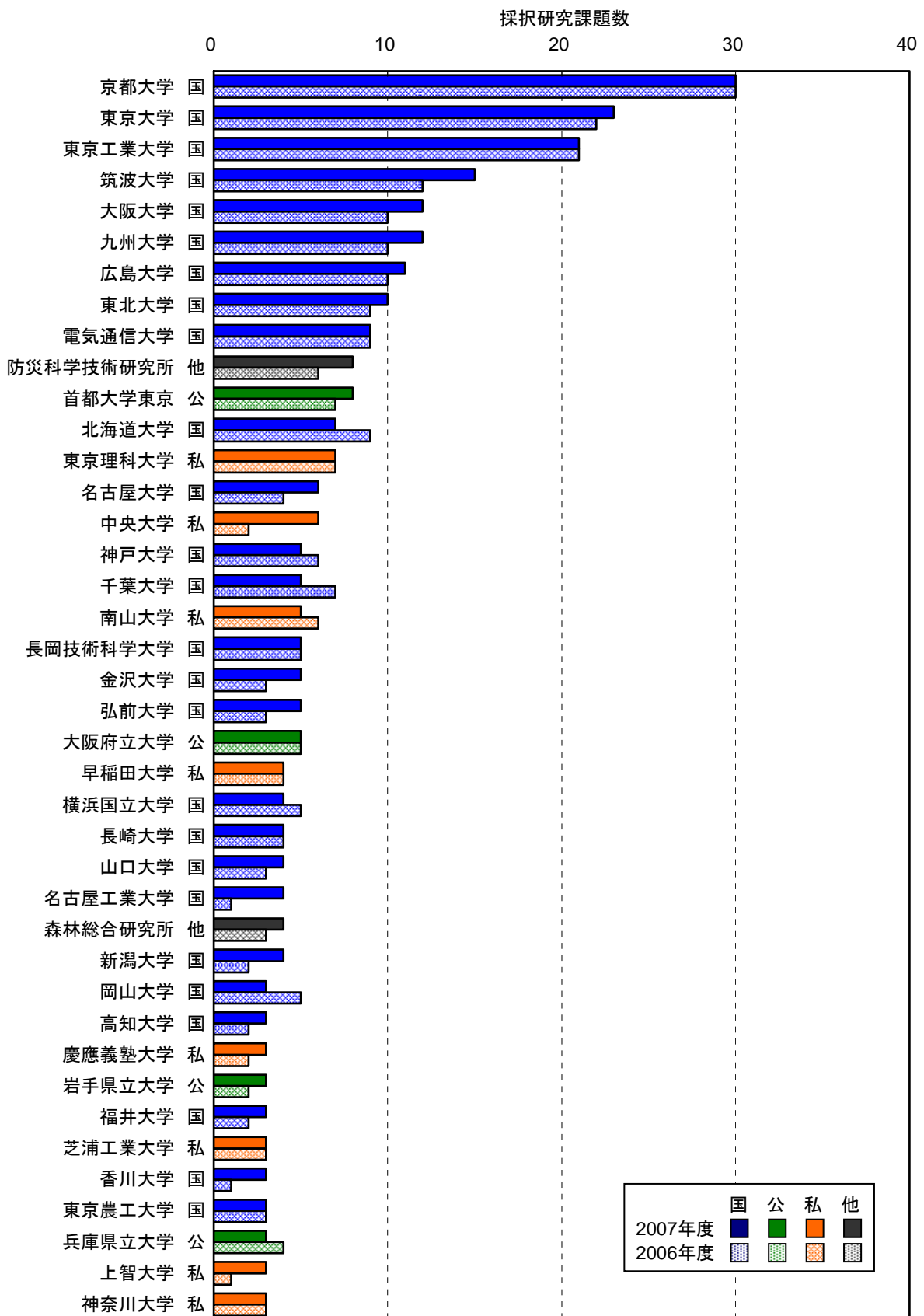


図 2-13 ナノ・マイクロ科学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)



### Ⅲ. 大型研究費編

#### 1. 概要

本章では、I章で分類したように、個々の研究者がそれぞれの研究目的により提案する「個別課題研究」に対し、「大型研究費の研究種目」（特別推進研究、特定領域研究、学術創成研究費、特別研究促進費）について、解析を行う。I章でも述べたように、このような調査研究には連続性が必要であることを考慮し、大型研究費についても、前年度について行った調査研究と同じ方法を用いてデータの整理を行う。本章で取り扱う大型研究費は大別すると、大型プロジェクト研究と、1件あたりの研究費の配分金額が大きな重点的研究とがある。

大型プロジェクト研究は、現在、特定領域研究のみとなっている。

#### 特定領域研究：

1. 目的：我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定して、一定期間、研究の進展等にに応じて機動的に推進し、当該研究領域の研究を格段に発展させること
2. 対象：学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域で、次のような特性をもつもの (a)その領域全体の学術的水準が高く、研究の格段の発展が期待できる研究領域、(b)研究の発展段階の観点からみて成長期にあり、研究の一層の発展が期待される研究領域、(c)学術の整合性ある発展の観点からみて重要であるが立ち遅れており、その進展に特別の配慮を必要とする研究領域、(d)その領域の研究の発展が他の研究領域の研究の発展に大きな波及効果をもたらす等、学術研究における先導的又は基盤的意義を有する研究領域、(e)社会的諸課題の解決に密接な関連を有しており、これらの解決を図るため、その研究成果に対する社会的要請の高い研究領域
3. 応募金額：1研究領域の応募金額の総額に制限は設けないが、応募金額の目安は、次のとおり
  - a) 比較的大規模グループにより研究の推進を図るもの・・・単年度当たり 2 億円から 6 億円程度
  - b) 機動的な中規模グループにより研究の推進を図るもの・・・単年度当たり 2 千万円から 2 億円程度
4. 研究期間（領域設定期間）：3～6年（左記以外の研究期間の応募は審査に付さない）  
（平成 19 年度科学研究費補助金公募要領（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費）より）

一方、個人研究を基本とする配分金額の大きな重点的研究として、次の 3 研究種目があるが、実質的には、特別推進研究と学術創成研究費の 2 種類である。

#### 特別推進研究：

1. 対象：国際的に高い評価を得ている研究をより一層推進するために、研究費を重点的に交付することにより、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画
2. 応募金額：1研究課題の応募金額の総額は、5 億円程度までを目安とするが、制限は設けない
3. 研究期間：3～5 年間（左記以外の研究期間の応募は審査に付さない）

(平成 19 年度科学研究費補助金公募要領(特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費)より)

#### 学術創成研究費：

1. 目的・内容：科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る(推薦制)。
2. 対象：①創造的・革新的・学際的学問領域を創成する研究、②社会・経済の発展の基盤を形成する先見性・創造性に富む研究、③国際的に対応を強く要請される研究。
3. 研究経費：3,000 万円～ 1 億円程度／1 年
4. 研究期間：5 年

(科学研究費補助金(学術創成研究費)の研究課題選定の審査要項(平成 17 年 12 月 26 日)より)

#### 特別研究促進費：

他の研究種目の応募書類の提出時には予想できなかった研究課題(突発的に発生した災害に関する研究など)であり、かつ、平成 19 年度に実施しなければならない緊急の研究課題(早急に研究を開始しないと対象が滅失してしまう研究など)であって、極めて重要なものが発生した場合には、文部科学省研究振興局学術研究課に、研究機関を通じて連絡・相談してください。

(平成 19 年度科学研究費補助金公募要領(特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費)より)

さらに、特別研究促進費については年複数回応募が試行され、次のような公募要領が公示されている。

#### 特別研究促進費(年複数回応募の試行)

<今回募集する研究計画の応募資格者の範囲>

本公募要領により募集する科学研究費補助金の応募資格者は、次の者に限定しております。

1. 研究者名簿の登録最終締切日(平成 18 年 10 月 20 日)の翌日以降、新たに科学研究費補助金の応募資格を得た者(新たに研究者番号を取得する必要がある者)
2. 研究者名簿の登録最終締切日(平成 18 年 10 月 20 日)の翌日以降に、再び科学研究費補助金の応募資格を得た者
3. 平成 18 年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、平成 18 年 11 月に受付が行われた科学研究費補助金に応募できなかった者

\* 既に研究者番号を取得している者については、上記「2」又は「3」に該当する者だけが応募することができますので、それ以外の者は、昨年 11 月の応募の有無に関わりなく応募してはなりません。

<今回の募集の趣旨>

今回の募集は昨年 9 月に公募を行い 11 月に受付を行った例年の募集とは別に行うもので、昨年 11 月の受付後、応募資格を得た者及び平成 18 年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、昨年 11 月に応募できなかった者を対象として行うものです。

科学研究費補助金は、これまで例年 1 回、補助金を交付する年度の前年の 11 月に応募を受け付け、6 月に補助金を交付しておりますが、迅速かつ機動的な研究助成を行う観点から、年複数回応募を実現していくため、応募資格者を上記の者に限定して、昨年度に引き続き、年複数回応募を

試行するものです。

なお、今回募集する研究計画が採択された場合には、「特別研究促進費」により研究費を措置しますが、募集する研究計画は、「基盤研究（C）」に相当するものです※（37歳以下の研究者が一人でやる研究計画については、審査の際に配慮することとしています）。

※今回の「年複数回応募の試行」では、「募集する研究計画」を変更していますので、応募にあたってはご注意ください。

（平成19年度科学研究費補助金公募要領（特別研究促進費（年複数回応募の試行）より）

## 2. 大型研究費の特徴

2006年度と2007年度の大型研究費全体の研究種目別採択研究課題数と配分額を表3-1に示す。このうち、2007年度の研究種目別の配分額の割合を図3-1の円グラフに示す。特別研究促進費はほとんどが年複数回応募の試行の扱いであるため、特定領域研究、特別推進研究、学術創成研究費の3研究種目に整理されている。

2007年度の大型研究費の配分額の内訳を前年度と比較すると、特定領域研究が70.5%から69.6%に、特別推進研究が13.4%から14.3%に、学術創成研究費が15.5%から15.9%に、特別研究促進費（年複数回応募の試行）は0.6%から0.2%に変化している。

表3-1 大型研究費の研究種目別の採択研究課題数と配分額

研究種目	2006年度		2007年度	
	件数	金額	件数	金額
特定領域研究	4,018	33,369,700	3,895	32,142,100
特別推進研究	81	6,350,400	85	6,595,000
学術創成研究費	100	7,318,500	97	7,319,100
特別研究促進費 (年複数回応募の試行)	98	280,700	68	110,000

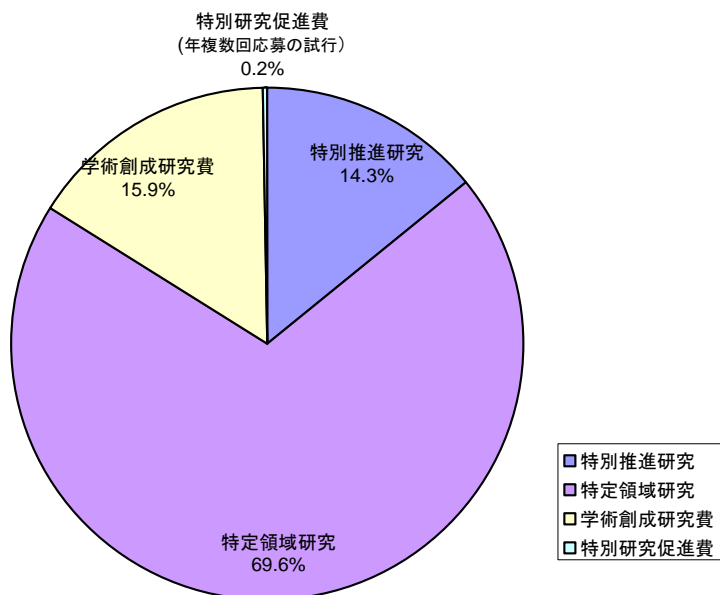


図3-1 大型研究費 研究種目別配分額の割合（2007年度）

### 3. 研究種目別

#### 3-1 特定領域研究

特定領域研究は、近年、制度が数度にわたり細かく変更されている。1998年度より重点領域研究から特定領域研究へと研究種目名称が変更され、研究期間の間に計画研究以外に公募研究を募集する特定領域研究（A）と計画研究のみの特定領域研究（B）とに分離した。さらに、2000年度には、特定の目的に対応するために特定領域研究（C）が創設されている。特定領域研究（C）は、当初ミレニアムプロジェクトとして癌撲滅を目的とした研究を中心に開始されたが、その後、特定領域研究の中へ取り込まれた。2002年度から特定領域研究（A）、（B）、（C）の区分がなくなり、特定領域研究へと一本化されるようになった。このような制度変更が数多くなされているが、特定領域研究の新たな領域の発足時期よりも公募研究を募集する公募要領の作成時期が早いために、公募要領のみからはすべての領域を把握することは難しい。

図3-2に、特定領域研究の領域数の年度推移を示す。2002年度以降、年々、領域数は減少している。

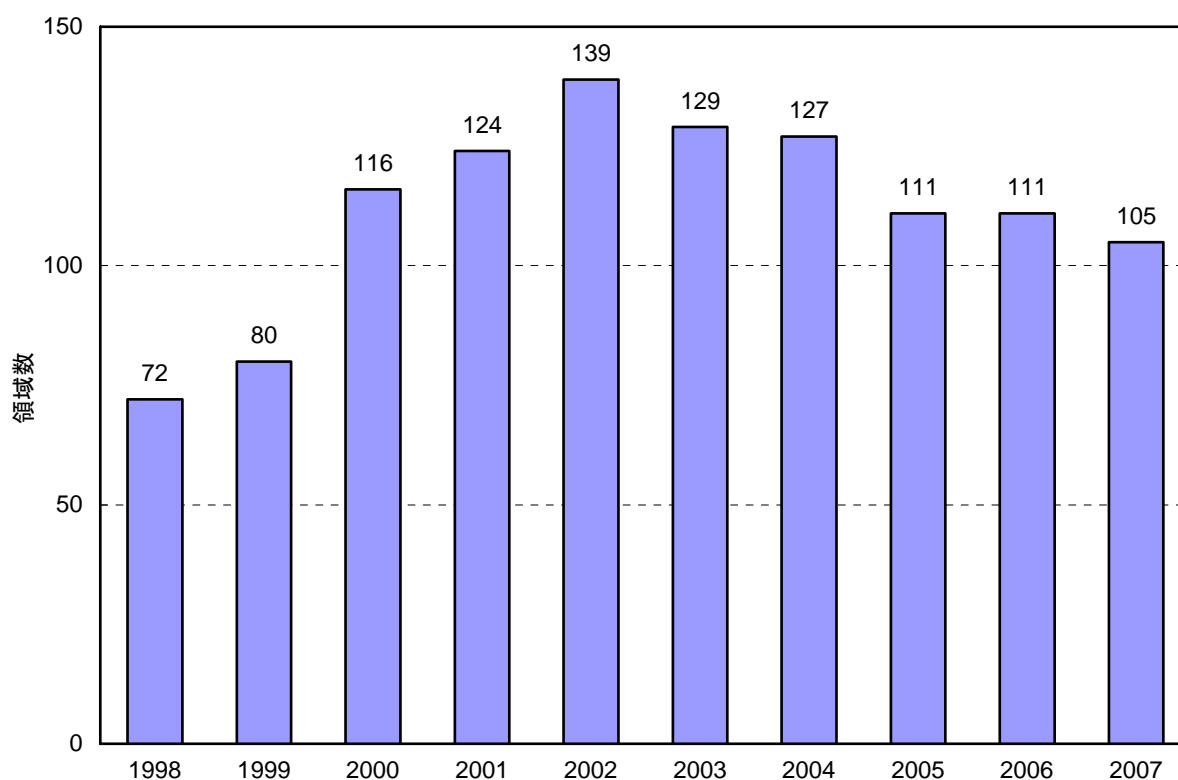


図3-2 特定領域研究の領域数の年度推移

特定領域研究の各領域は複数の研究課題に分割されており、それらの研究課題ごとに採択が決定される。採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表3-2、その棒グラフを図3-3にそれぞれ示す。前年度と比較すると、機関別の順位はほとんど変化がないが、大阪大学が採択研究課題



数を 20 件、北海道大学が 17 件、東京工業大学が 11 件増やし、反対に東京大学が 25 件、名古屋大学が 11 件減らしているのが目につく。下位では、東京都医学研究機構が採択研究課題数を 15 件減らし、22 位から同数 40 位に順位を下げている。

表3-2 特定領域研究 採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	432	5,229,200	457
2	国	京都大学	346	3,096,000	347
3	国	大阪大学	313	2,509,400	293
4	国	東北大学	222	1,768,700	217
5	国	名古屋大学	165	1,625,400	176
6	国	九州大学	162	1,066,500	155
7	国	北海道大学	145	876,500	128
8	国	東京工業大学	121	1,121,600	110
9	他	理化学研究所	112	848,700	118
10	国	筑波大学	95	586,500	98
11	国	広島大学	55	366,300	51
12	国	神戸大学	54	445,300	54
13	私	慶應義塾大学	52	300,200	51
14	国	奈良先端科学技術大学院大学	51	364,100	48
15	国	東京医科歯科大学	50	425,500	48
16	国	千葉大学	49	314,900	54
16	他	産業技術総合研究所	49	301,600	43
18	国	熊本大学	46	352,500	51
19	国	岡山大学	42	290,700	40
20	国	金沢大学	32	148,100	40
21	他	国立遺伝学研究所	31	693,200	40
21	国	群馬大学	31	190,300	28
23	他	生理学研究所	29	198,600	29
23	公	大阪市立大学	29	186,100	30
25	私	早稲田大学	28	192,300	28
26	国	長崎大学	26	143,100	22
27	公	大阪府立大学	25	176,200	22
27	国	徳島大学	25	167,500	27
29	公	首都大学東京	24	206,400	21
29	公	横浜市立大学	24	206,400	26
29	他	分子科学研究所	24	103,500	23
32	他	基礎生物学研究所	22	254,000	20
32	他	物質・材料研究機構	22	132,000	16
34	国	東京農工大学	21	217,000	22
35	公	兵庫県立大学	19	116,900	20
36	他	高エネルギー加速器研究機構	18	326,100	16
36	国	新潟大学	18	117,800	25
38	他	癌研究会	17	315,900	11
38	国	富山大学	17	86,400	19
40	他	東京都医学研究機構	16	119,600	31
40	国	岐阜大学	16	77,700	17
42	国	横浜国立大学	15	149,800	17
42	公	名古屋市立大学	15	120,600	18
42	私	東京理科大学	15	67,400	21
42	他	日本原子力研究開発機構	15	54,400	11
46	他	愛知県がんセンター	14	150,000	12
46	他	国立がんセンター	14	134,900	14
46	国	愛媛大学	14	84,200	17
46	私	東京薬科大学	14	76,600	13
46	国	静岡大学	14	45,200	18
		合計	3,895	32,142,100	4,018

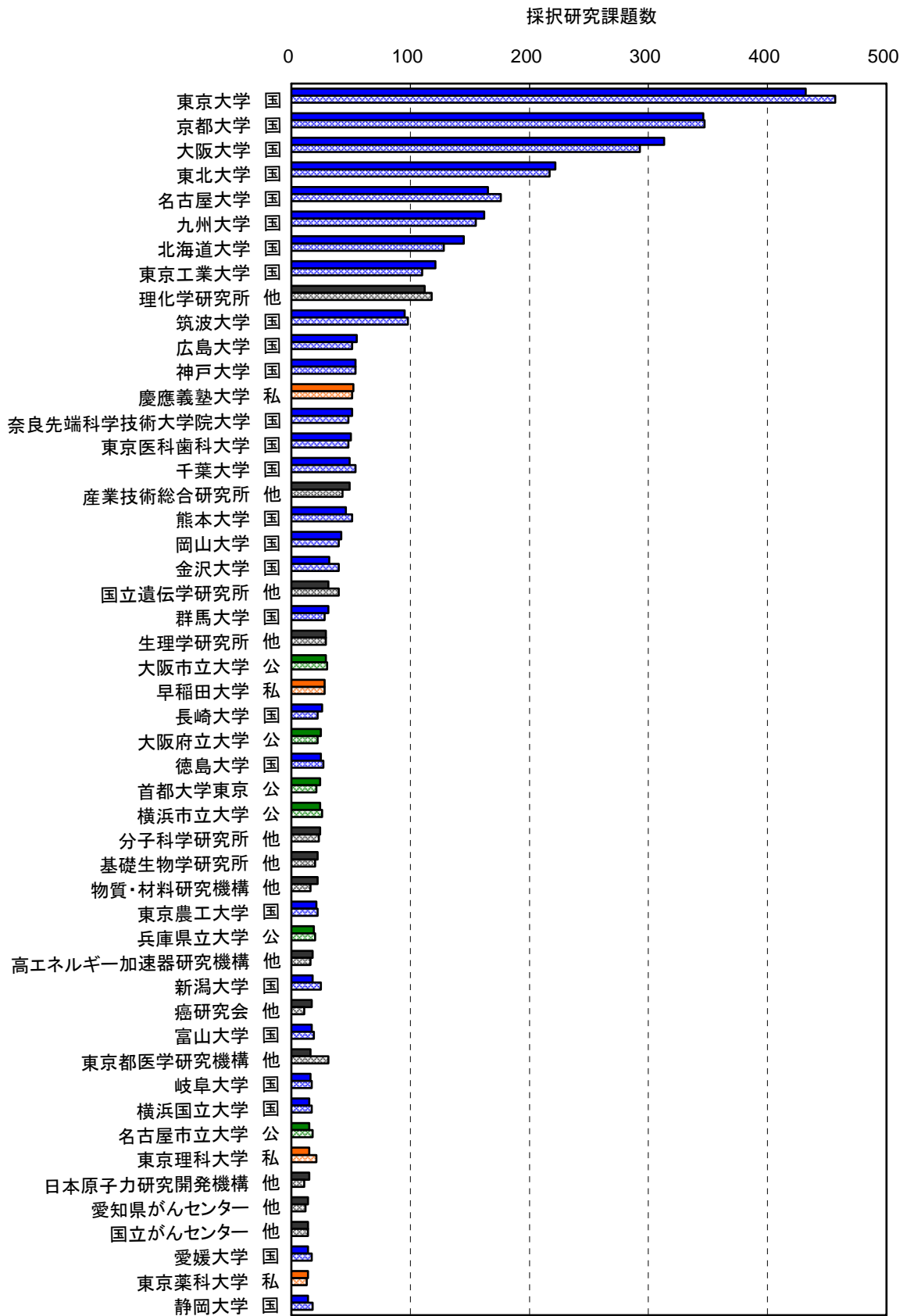


図 3 - 3 特定領域研究 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

### 3-2 特別推進研究

特別推進研究の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-3に示す。特別推進研究は「国際的に高い評価を得ている研究をより一層推進するために、研究費を重点的に交付することにより、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画」が採択の対象になる。上位の東京大学が5件、東北大学が2件、京都大学が1件、大阪大学が2件採択研究課題数を増やしているのに対し、名古屋大学が採択研究課題数を3件減らして4位から同数6位に順位を下げている。しかし全体的には大きな変化はみられない。

表3-3 特別推進研究 採択研究課題数（2007年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	18	1,844,600	13
2	国	東北大学	14	883,700	12
3	国	京都大学	7	590,600	6
4	国	大阪大学	6	427,500	4
5	国	北海道大学	4	280,400	4
6	他	日本原子力研究開発機構	2	338,900	2
6	他	理化学研究所	2	271,600	2
6	私	早稲田大学	2	166,500	3
6	国	東京工業大学	2	159,800	1
6	他	基礎生物学研究所	2	159,700	1
6	国	神戸大学	2	154,100	2
6	国	九州大学	2	67,600	4
6	国	筑波大学	2	44,600	2
6	国	名古屋大学	2	33,800	5
6	国	九州工業大学	2	26,700	2
16	国	信州大学	1	134,300	0
16	他	国立情報学研究所	1	115,300	1
16	国	広島大学	1	103,600	1
16	他	東京都医学研究機構	1	101,900	1
16	他	大阪バイオサイエンス研究所	1	99,600	2
16	私	近畿大学	1	84,000	0
16	国	一橋大学	1	76,500	1
16	私	慶應義塾大学	1	70,400	1
16	私	中央大学	1	56,800	1
16	国	山形大学	1	53,000	1
16	国	新潟大学	1	51,200	1
16	他	国立遺伝学研究所	1	50,900	1
16	私	東京理科大学	1	47,000	1
16	他	高エネルギー加速器研究機構	1	37,900	1
16	国	金沢大学	1	36,500	1
16	私	学習院大学	1	26,000	0
合計			85	6,595,000	81

注：2007年度に採択研究課題のなかった研究機関は省かれている。

### 3-3 学術創成研究費

学術創成研究費はその目的・内容が「科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る」研究で、科学研究費補助金制度の中で唯一、公募制ではなく「推薦制」の研究種目である。その対象として、次の3つを挙げている。

- ①創造的・革新的・学際的学問領域を創成する研究
- ②社会・経済の発展の基盤を形成する先見性・創造性に富む研究
- ③国際的に対応を強く要請される研究

学術創成研究費の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-4に示す。前年度と比較すると、京都大学が採択研究課題数を3件増やし、大阪大学も2件増やし、高エネルギー加速器研究機構も2件採択研究課題数を増やして同数6位に上昇している。一方、名古屋大学が3件、東北大学が2件採択研究課題数を減らして、それぞれ4位、5位に後退している。

表3-4 学術創成研究費 採択研究課題数（2007年度）

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	京都大学	21	1,697,900	18
2	国	東京大学	18	1,265,300	18
3	国	大阪大学	10	745,500	8
4	国	名古屋大学	8	558,800	11
5	国	東北大学	6	437,400	8
6	国	東京工業大学	5	429,000	6
6	他	高エネルギー加速器研究機構	5	398,600	3
8	他	理化学研究所	4	265,400	4
9	国	東京医科歯科大学	3	253,300	3
10	国	神戸大学	2	187,600	2
10	私	慶應義塾大学	2	137,300	3
10	国	九州大学	2	135,600	3
13	私	大阪電気通信大学	1	102,700	1
13	他	基礎生物学研究所	1	96,200	0
13	国	信州大学	1	89,400	0
13	他	海洋研究開発機構	1	88,500	0
13	他	国立歴史民俗博物館	1	78,900	1
13	国	奈良先端科学技術大学院大学	1	78,200	1
13	国	一橋大学	1	67,600	1
13	国	筑波大学	1	53,700	1
13	国	愛媛大学	1	52,000	1
13	国	岡山大学	1	50,200	1
13	他	宇宙航空研究開発機構	1	50,000	1
合計			97	7,319,100	100

注：2007年度に採択研究課題のなかった研究機関は省かれている。

### 3-4 特別研究促進費

旧来の特別研究促進費は迅速かつ機動的な研究助成を行うための役割を負っていたが、2006年度から特別研究促進費の性格が大きく変わり、個別課題研究に対する補正的な性格も持つようになった。しかし、これまでの調査報告との一貫性のため大型研究費の項で議論する。

旧来の特別研究促進費については、「KAKEN」の採択研究課題データベース上の採択研究課題数と「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」の数値などには著しく差があり、どのような研究テーマが採択されてきたかなど、特別研究促進費全体については2007年度の5年間の総集編で議論することにする。

2007年度に採択された特別研究促進費（年複数回応募の試行）の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-5に示す。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。

表3-5 特別研究促進費（年複数回応募の試行） 採択研究課題数（2007年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	6	9,700	8
2	国	京都大学	4	4,800	2
3	国	北海道大学	3	5,300	5
3	国	金沢大学	3	5,100	1
3	国	大阪大学	3	2,600	6
6	国	九州大学	2	4,000	2
6	国	千葉大学	2	3,900	0
6	国	山口大学	2	3,900	0
6	国	愛媛大学	2	3,900	1
6	国	神戸大学	2	3,700	2
6	私	慶應義塾大学	2	3,600	1
6	国	東京医科歯科大学	2	3,500	1
6	国	東北大学	2	2,900	4
6	国	筑波大学	2	2,500	1
15	私	早稲田大学	1	3,000	2
15	私	日本大学	1	2,600	0
15	他	農業・食品産業技術総合研究機構	1	2,300	1
15	私	中部大学	1	2,200	0
15	私	兵庫医療大学	1	2,200	0
15	他	愛媛女子短期大学	1	2,200	0
15	国	弘前大学	1	2,100	1
15	国	三重大学	1	2,100	1
15	私	高崎健康福祉大学	1	2,100	0
15	公	和歌山県立医科大学	1	2,000	0
15	国	佐賀大学	1	1,900	1
15	国	福島大学	1	1,800	0
15	公	札幌医科大学	1	1,700	0
15	私	立命館大学	1	1,700	0
15	私	関西学院大学	1	1,600	0
15	私	川崎医科大学	1	1,600	0
15	国	岡山大学	1	1,500	1
15	他	宇宙航空研究開発機構	1	1,500	0
15	国	熊本大学	1	1,400	1
15	私	北海道医療大学	1	1,400	0
15	私	東邦大学	1	1,400	0
15	私	産業医科大学	1	1,400	0
15	他	国立国際医療センター	1	1,300	0
15	国	奈良先端科学技術大学院大学	1	1,200	0
15	他	奈良文化財研究所	1	1,200	0
15	国	富山大学	1	1,100	1
15	私	杏林大学	1	1,100	0
15	公	会津大学	1	900	0
15	国	東京外国語大学	1	800	1
15	私	日本女子大学	1	700	0
15	私	国際基督教大学	1	600	0
合計			68	110,000	98

注：2007年度に採択研究課題のなかった研究課題は省かれている。

また、2006年度と2007年度では募集する研究計画が異なるため、数値を比較しても意味がないかもしれない。